

ちよつといい話

8



瑞浪市

『ちよつといい話』を手にしてくださいました皆さんへ

『ちよつといい話』は、皆さんが日々の生活の中で見たり聞いたり体験した、心が温かくなる出来事を取りまとめた小冊子です。

『ちよつといい話』の募集を始めて8年目となりました。今年度は、1, 140人の方からご応募いただきました。これまでに、のべ6, 230人の方にご応募いただいております。ページの都合上、すべてのお話を紹介することはできませんでしたが、お話をお寄せいただきました皆様に深く感謝します。

『ちよつといい話』は、毎日の生活の中で、皆さんが感じた嬉しい気持ちや、感心したり、勇気をもらったりした出来事など、自分の心にしまっておくだけではもったいないような話のおすそわけとなっています。

この冊子を手にしていただいたあなたにも、毎日の生活の中で人と人とのつながりを、思い返すきっかけになれば幸いです。



も く じ

◆ 一般編	◆ 中学校編	◆ 小学校編	◆ 幼稚園編
………	………	………	………
89	47	3	1

【表紙のイラスト】 酒井由佳さん

幼兒園編



▽おともだちとおもちやのとりあいになってしまったとき、おともだちがおもちやをゆずつてくれてうれしかった。

5才

▽ぼくはかぞくがだいすきです。おとうさんは、しごとをがんばっています。おかあさんは、ごはんづくりをがんばっています。おにいちゃんは、がっこうをがんばっています。ぼくは、ようちえんをがんばっています。おとうさんと、おかあさんと、おにいちゃんと、ぼくは、なかよしです。

5才

▽すきなことができました。なまえはRちゃんです。

3才

▽ほいくえんであそぶのがたのしいです。だいすきなせんせいがいます。

3才

〈親より〉

4月から息子が幼稚園に入りました。慣れることができるか心配でしたが、先生方や同じ園のお子さん方が親切にしてくださいまして楽しく行けるようになりました。



5才



小学校編



☆ あいさつでニコニコ笑顔	3
☆ 家族っていいな	7
☆ 友だちっていいな	17
☆ がんばった運動会	25
☆ クラブ・習い事でいっしょけんめい	31
☆ 近所の人とのつながり	38
☆ うれしい出来事	40



おはようございます

▽ぼくが朝「おはよう」と言ったら、みんなが「おはよう」と言ってくれたので、あたたかいきもちになりました。

小5

▽私の学校では「あいさつ運動」というのをやっています。階段のところに6人ぐらい立って、人の名前を呼んであいさつをしていくのを「あいさつ運動」と言っています。私は4年生まで小さい声で「おはようございます」と言っていました。でも、あることがきっかけで大きな声であいさつできるようになりました。そのあることは、当時1年生だった男の子が出会った人に必ずあいさつをしていました。その年上の人や先生などいろいろな人にあいさつをしていました。それを見て私もこの子みたいにならばろうと思えました。そのことがきっかけで今でも大きな声であいさつをしています。その男の子は放送で一番大きな声であいさつをしている人で名前を呼ばれていました。私はすごいと思いました。私の学校はあいさつが自まんの学校です。6年生として次の子にその自まんのあいさつを伝えていきたいです。

小6



小6



小5

▽私がいつも登校していると、近所のおばさんが車に乗っていても、車をわざわざとめて「おはよう。今日も元気だね」と声をかけてくれます。だから、私はおばさんがあいさつをしてくれるたび私も他の人に笑顔になれるようなあいさつをしようと思います。

小5

▽ぼくは通学する時、毎日ろう人ホームのバスと出会います。最初はおじいさんが手をふってくれたからふりかえしたけど、今ではぼくが手をふっておじいさんがふりかえしてくれます。ぼくは、学校へあたたかい心で通つていきます。

小6

▽いつも、下校のときに、けいび員のおじさんに会います。そのおじさんはいつも会うたびに、笑顔で「こんにちば」などと言ってくれます。ぼくはその言葉を聞くと、つかれた心が一気にふき飛ぶような気がして心がほかほかします。それに、ずっと交通のために立ちっぱなしで働いておじさんの方がつかれていると思うのに、いつもぼくたちをやさしく見守ってくれているので、安心感もあります。ぼくも大人になったら、そんな風にならずと笑顔でいるあのおじさんになりたいです。

小6



小6



小5

▽私たちが1年生の時からずっと分団で学校までついて来てくれるおじさんがいます。それは、交通安全協会の人です。朝早くから道路を安全にわたれるように見守ってくれるので、安全に学校へ行けます。おじさんは朝早くから私たちや地域の人に大きな声で「おはよう」と言っています。最近、分団では「おはよう」と言わないので、おじさんのように明るく「おはよう」と言うようにしたいです。

小6

▽わたしは、毎日、歩いて学校に通っています。登校のと中に地域の人や先生と「おはようございます」とあいさつを言い合います。地域の人や先生は、わたしたちを気づかってくれるし、心配してくれていてやさしいなと思います。わたしは、気をつけて元気に楽しく学校に通えるのは、地域の人や先生のおかげなので、「気持ちの良いあいさつをしてくれてありがとうございます」という気持ちを伝えられるように、毎日学校に通いたいなと思いました。

小4

▽がつこうにいくときに、おじさんが「おはよう」とこえをかけてくれるけど、はずかしくて「おはよう」と言えなかった。このまえ、がんばって「おはよう」とこたえたら、おじさんがわらってくれてうれしかったです。

小1



小4

▽私は毎日あいさつに気をつけています。ある日、私がおじいさんに「おはようございます」とあいさつをしたら「元気がいいね。元気になるよ」と言ってくれました。あいさつは人を元気にさせるまほうの言葉だと思います、うれしくなりました。

小5

▽ある日、わたしは妹といっしょに歩いて公園に行きました。公園の中ではたくさんの方がいきました。わたしは学校でだれにでも大きな声であいさつすることをがんばっているのです、地いきの方にもあいさつをしました。知らない人ばかりなので、少しはずかしかったけど「こんにちは」とあいさつが返ってきたのでうれしかったし、あいさつをしてよかったなと思いました。学校で「大きな声であいさつすると気持ちいいよ」と言われたのが本当だったんだと思いました。

小4

▽いつも学校へ行くとき、バスでいでおばあさんが「おはよう。今日もがんばってね」と言ってくれます。なので「ぼくも今日もがんばるぞ」という気持ちになれます。ぼくも、もつと元気にあいさつして、おばあさんも同じ気持ちにしてあげたいです。

小4



小4



小5

お家族っぴいな

▽すこしおなががいたい日、お父さんがさすつてくれるといたいのがおさまります。おくすりをつかっていないのにふしぎです。

小1

▽ぼくが友だちと家でゲームをして遊んでいた日、お父さんが「山に行く」とさそってきました。さいしょはことわっていました。でも、行くことになって、山を登ったらどんどん楽しくなってきました。そして、ちょうどように着いたら、その上から見ただけしきがきれいでスツキリしました。家でゲームをしていなくてよかったですと思いました。

小3



小3

▽私のお父さんは、今、入いんしていて、家に帰ってくる日がないです。私は、お父さんがいなくてさみしいので、手紙を書きました。私と母と弟が、お父さんのお見まいに行った時、手紙もいっしょに持っていきました。私はちよくせつわたすのが苦手なので、見える場所に置いて帰りました。家に着いて、お父さんが「ありがとう」と言ってくれたので、手紙を置いたかいたが思ったなと思ひ、少しいい気分になりました。

小4

▽わたしは、ねるとき、おかあさんがとりにいないとねむれません。それは、ねるまえに、おはなしをするとよいゆめを見られるからです。

小1

▽母がこつそりわたしにしゃべってきたのがうれしかったです。たのしかったです。

小2

▽おかあさんは、ぼくの音どくが大すきで、ぼくが音どくをすると「こころがほっこりしてげんきが出る」と言ってくれます。ぼくはうれしいきもちになります。

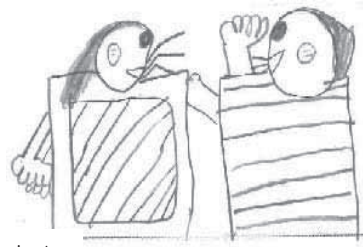
小1

▽わたしのおかあさんは、いつもいそがしそうで「だいじょうぶかな？」と思っています。おかあさんは、せんたくをしたり、ごはんをつくったり、そうじきをかけたりしているのです、よこになっていることがあります。なので「わたしもてつだおうかな」と思っていました。お休みの日や学校が休みの日は手つだいをしたいです。手つだいをすると、おかあさんが「すごいね。じょうずだよ」と言ってくれたのでとてもうれしかったです。

小2



小2



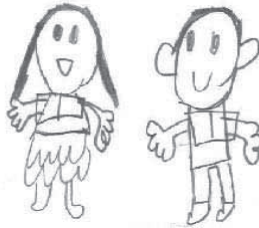
小1

▽ぼくには3才になる弟がいます。最近、話すのが上手になって、ぼくが何かしてあげると「ありがとう」と言ってくれます。そして「ごめんね」も言えるようになりました。すると、お母さんが「いつもお兄ちゃんやさんとありがとうやごめんねを言ってくれるから、弟も言えるようになったんだよ。ありがとう」と言ってくれました。少しはずかしいけど、とってもうれしかったです。

小5

▽わたしにはおとうとがいます。よくけんかします。でもおとうとは、わたしがたすけてほしいとき、すぐにたすけてくれます。わたしがいつしよにかいものに行けないときも、わたしのぶんのおかしをかってきてくれます。わたしもおとうとがたすけてほしいときは、すぐにたすけてあげたいです。わたしは、おとうとのが大すきです。

小2



小2

▽わたしがお母さんにおこられた時のことです。わたしがなっていたら、弟が来てなぐさめてくれました。弟が「だいじょうぶ？」と聞いてくれたので、うれしかったです。わたしも弟みたいに「どうしたの？だいじょうぶ？」と聞いたりしてたすけてあげたいです。弟はかっこいいなと思います。

小3

▽ぼくは、0さいのおとうとがいます。おとうとがないとき、だっこしてあげるとなきやんでくれます。ぼくがかおをみると、にっこりわらつてくれます。そんなとき、とてもうれしくなります。ぼくも、いつもにこにこえがおでいたいとおもいました。

小1

▽私は、お兄ちゃんが修学旅行から帰ってきた時、おみやげをもらいました。私たちの兄弟は6人兄弟です。だけど、お兄ちゃんは、自分の物を少ししか買わずに、おみやげをゆう先してかっけてくれました。また千円以上もするおみやげばかりで、ごうかでした。お兄ちゃんからもらったおみやげはいつまでも大切に持っていようと思います。ありがとうございます。これからも学校がんばってね。

小5

▽ぼくは、なつやすみに、はやおきできなかつた日がなんにもありません。学校からもつてかえってきたあさがおの水やりをまいあさしなくてはいけないのに、わすれた日もありました。でも、ぼくのあさがおはげんきで、まいあさきれいな花をたくさんさかせていました。ぼくよりはやおきしたおにいちやんが、かれないように水やりをしたり、あつすぎる日にはひかげにいろいろしてくれたからです。だから、ぼくのあさがおは、なつやすみがおわったあともげんきでした。おにいちやんありがとう。

小1

▽あき、ひとりだときみしくて学校に行くのがしんばいになります。なみだが出てきて止まってしまふけど、ふたごのいもうとが手をひっぱっておうえんしてくれます。わたしもがんばって学校に行くことができます。

小1



小1

▽わたしにはふたりのいもうとがいます。なので、がまんすることがおおいです。おねえちゃんなので、めんどろをみてあげたり、おもちゃをゆずってあげます。でも、うれしいこともあります。いつもいもうとたちが、おかあさんにだっこしてもらったり、ひざの上ですわっているけど、ふたりがねているときは、ひとりじめできます。それから、おかあさんに「いつもおねえちゃんをしてくれてありがとう。大すきだよ」と言っ過ぎてゆーってしてくれます。だから、わたしはみんなが大好きです。

小1

▽妹がころんで足をけがした日、おふろで体を洗う時に「お湯がキズにしてみる」と泣いていました。それを見たぼくは、おふろのイスにすわってひざを曲げたらいたくないかもしれないと考えて「イスにすわってみたらどう？」と声をかけました。「イスにすわってもいたい」と妹は大きなきしたけど「やさしいことばをかけてくれてありがとう」とお母さんに言われたので、声をかけてよかったと思いました。

小2

▽ある時、お姉ちゃんが熱を出してしまいました。お姉ちゃんは、いつもママは大変だからといろいろお手伝いをしたり、私に宿題を教えてくださいたり、一緒に遊んだりしてくれていました。でもそんなお姉ちゃんが熱を出してしまったので、今日は私がかわりにお手伝いをしようと思いましたが。ごはん作りを手伝ったり、せんたくたたみをしたりしました。とつても大変でつかれてしまいました。だから、いつもいろいろしているお姉ちゃんを本当にすごいと思いました。そして、いつもお姉ちゃんにたよっていたので、これからは私もお姉ちゃんを助けたり、自分のことはなるべく自分でしようと思いました。お姉ちゃん、いつも本当にありがとう。大好きな私の自まんのお姉ちゃんです。

小4

▽夏休み中、私のお母さんのたん生日でした。だから、お母さんが仕事から帰ってきたら、家族みんなでおいおいをすることにしました。わたしはあまり買える物がなかったのですが、おり紙をおったり、手紙を書いたり、部屋にかざりつけをしたりしました。お父さんとお兄ちゃんといっしょにケーキを買いに行きました。そして、お母さんが帰ってきて、私が書いた手紙とお紙をわたしたら「ありがとう。今まで一番楽しかったよ」と言ってくれて、すごくよかったです。私もうれしかったです。

小3



小3

▽夏休みにキャンプに行った夜、ぼくはふとんをかけずにねていました。けれど、朝起きたらふとんがかかっていた。キャンプから帰ってきて、またぼくは夜にふとんをかけずにねました。でも、次の朝にもふとんがかけてありました。ぼくは、お父さんかお母さんが、いつもかぜをひかないようにふとんをかけてくれているのに気がつきました。ぼくは、親はすごいなと思いました。

小4

▽ぼくは、まだ、はが一本もぬけていません。でもぐらぐらしたはは4本もあります。まい日、しあげみがきのときに、おとうさんやおかあさんがぐらぐらのチェックをしてくれます。「もうすぐぬけそう！たのしみだね」といつてくれます。いつぼくのはがぬけるのかかぞくみんなです。キドキたのしみにしています。

小1

▽ぼくは、よくお母さんとケンカをします。そんな時、いつもお父さんが「落ち着いて。冷静になつて話をしてみて」となぐさめてくれます。それでぼくが話をしてお母さんにあやまりに行くとお母さんが「いいよ。お母さんも言いすぎてごめんね」と言ってくれます。次の日は、口数がへるけど仲直りできてよかったと思います。また、いつも、お母さんは「妹を見てくれてありがとう」と言ってくれます。弟とケンカしてお母さんにめいわくをかけているので仲良く笑って過ごせる家族にしたいです。そして、しょう来おん返しをしたいです。

小5

▽母は、2月にインフルエンザにかかりました。ずっとぐったりしてご飯も食べられないくらいで、ぼくは、得意料理の卵焼きと、母の大好物のうめぼしを用意しました。母が「どうしたの？」と言ったので「ぼくが作ったよ」と言ったら、とてもよろこんでくれました。卵焼きは、おいしく食べてくれましたが、うめぼしは、すっぱそうに食べていました。母がぼくにとても感謝してくれて「ありがたい」と言ってくれました。日ごろ、ぼくも感謝の気持ちがつたえられなかったので、よろこんでもらえて良かったです。

小6

▽ぼくは、おとうさんとあきたにいます。いとこにあいにいきました。いとこもいっぱいあそべたのでたのしかったです。でもあさになるときゆうにさみしくなってしまう、ないてしまいました。「はやくおかあさんにいたいなあ。おうちにかえりたいなあ」おうちにかえったら、おかあさんがえがおで「おかえり」といってくれました。ぼくはおうちがいちばんあんしんします。それは、大きなおかあさんたちがいるばしよだからです。

小1

▽なつやすみにかぞくでおばあちゃんにあいにいきました。ひさしぶりにあったおばあちゃんといっしょにごはんをたべました。おばあちゃんが、ぼくに「しつかりごはんをたべてえらいねえ」「大きくなっておにいちゃんになったねえ」とかいっぱいほめてくれました。うれしかったから、これからもがんばって、おばあちゃんをあんしんさせたいです。

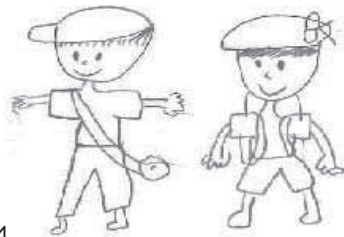
小1

▽ぼくのいえには、87才のひいおじいちゃんがいます。ぼくが小さい時には、いっしよにさんぼにつれていってくれたりたくさんあそんでくれました。今でもいっしよにオセロやランプをしてくれます。むかしの話やせんそうの話も教えてくれます。おじいちゃんは、ぼくやおとうのことを「大すぎだよ。○○たちのせいちょうがたのしみだからまだしにたくない」と言ってくれます。そんなおじいちゃんのことをぼくも大すぎです。いつまでも元気で長生きしてほしいです。おじいちゃんがぼくたちにやさしくしてくれるように、ぼくもおじいちゃんにやさしくしてあげたいです。

小2

▽わたしのおばあちゃんは、わたしの家から3分くらいのところに住んでいます。わたしの家から近いので、3年生の時からずっと毎朝、わたしたちの分団の後ろについてあぶないところがないか見守っていっしよに歩いてくれます。おばあちゃんは「運動不足だからね」と言っているけど、本当はわたしたちのために歩いてくれていると思います。時どき、登校の途中で気分が悪くなる子がいると、そばについて家まで送ってあげたりしています。毎朝、わたしたちの分団を見守ってくれてありがとう。これからもお願いね。

小4



小4

▽ぼくは、いつもじいじのあしもみをします。「○○ちゃんあんまして」といいます。じいじは、しごとをすると、ひざやこしがいたくなります。ぼくは、じいじのせなかがすべるので、ばあばのつえをもつてかたからあしのさきまであしでもんであげます。じいじのいたところは、なんかいでもふみません。じいじは「よくきく、よくきく」といつてうれしそうにぼくにいいます。おわるといつもごほうびをくれます。ぼくは、またあんましてあげたくなります。

小1

▽ぼくの家の夕ご飯には、毎日野菜が出ます。この野菜は、ぼくのおじいちゃんやおばあちゃんが暑い中、ていねいに育ててくれた野菜です。とても新鮮でおいしいです。おじいちゃん、おばあちゃんありがとう。

小6

▽お母さんが仕事の時は、いつもおばあちゃんがごはんを作ってくれます。そのご飯はとってもおいしいです。ぼくが「おいしい」と言うとおばあちゃんがいつも笑ってくれます。いつも、ご飯を作ってくれているので、何かしたいと思ひ、敬老の日に花とちよつとしたメッセーヂを送りました。そうしたら、おばあちゃんは「ありがとう」と言ってくれました。そして、ぼくは無意識に笑ってしまいました。きっとおばあちゃんもこんな感じなんだろうなと思ひました。

小6



小1

おぼくちっぴいば

▽わたしが1年生になったばかりのとき、まいにち学校でなっていました。ないているときに、まだなまえもしらない子が「どうしたの？だいじょうぶ？」とこえをかけてくれました。はなしかけてくれたので、うれしかったです。

小1

▽わたしは、ようじえんのみんなとはちがう小学校へいきました。おともだちとおわかれするのはさみしかったけど、いまでもあったときはこえをかけてくれます。おぼえていてくれてすごうれいす。

小1

▽わたしが一人であそんでいたらともだちが「あそぼう」って言うてくれたのでうれしかったです。わたしも一人であそんでいる子がいたら「あそぼう」と言いたいです。

小2



小1

▽ぼくは、たべもののアレルギーがあります。たべられないおかしがたくさんあるけど、ともだちのうちにくくと、いつもぼくのためにたべられるおかしをよういしてくれています。だから、ぼくはみんなといっしょにたべることができてとてもうれいすきもちになります。

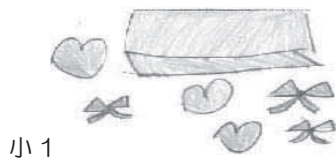
小1

▽わたしがかぜをひいて休んだとき、ともだちがしんぱいして、てがみをくれました。てがみの中にハートやリボンのきりぬきが入っていて、とてもかわいかった。そのてがみをよんではやくげんきになって学校にいきたいとおもいました。 小1

▽ちよつと前に、ぼくの大切な人が死んでしまいました。学校へ行ったけど、今までのことを思い出したら、なみだがとても出てきました。ぼくが泣いているとみんながすぐに寄ってきて「大丈夫？」と聞いてくれたのでうれしかったです。 小6

▽わたしは、この前、友だちにかなしいことを言われてしまいました。でも近所の友だちが毎朝「おはよう」と声をかけてくれたり、登校中もいろんな話をしてくれて毎日楽しく学校に行くことができました。わたしも、かなしい顔をしている友だちがいたら、すすんで声をかけて楽しい話をしてあげたいです。 小3

▽運動会の係決めで器具係の係長を決める時に、だれも立こうほをしようとしませんでした。そんな時にTさんは、自分から立こうほをしてすごいと思いました。今年は6年生として運動会を支えていかなければなりません。自分のやりたい係をがまんして、全校のためになろうとしていたTさんはすごいと思いました。 小6



小1

▽帰りの会の前に、わたしはお茶をこぼしてしまいました。ぞうきんでふいていたら、友だちがティッシュやぞうきんでいっしょにふいてくれました。帰りの会のはじまりには間に合わなかったけれど、おかげで早くふきおわりました。ひとりでふいていたら時間がかかったし、たいへんだったと思います。友だちが手つだってくれてとてもうれしかったです。

小3

▽私は今、※ヒカリア委員会という児童会の委員の委員長をしています。私はその委員会のあいさつ運動というキャンペーンをしていて、その日は私の当番でした。坂ダッシュをしなければ最初の分団にあいさつできないので、とても長くて急な坂を走っていました。ですが、私は走るのが苦手で、その日はプールバックと図書バックなどの荷物を持っていて、とても走るのが大変でした。するとちがう分団で私より下の5年生の子が「大丈夫？坂の上まで持っていったらあげるよ！」と言って、自分も荷物があるのに持ってくれました。そして次の週も持ってくれました。私はあらためて思いやりは人をうれしくさせる大事な役割があると感じ、次、その子が大変だったら、私がお手伝いをしてあげたいです。

※巻員の化石（ここでは児童会の名称）

小6



小6



小3

▽わたしは4月から1年生になりました。わからないことがあると、6年生のおねえさんたちが、いつもやさしくおしえてくれます。休みじかんにも1年生のきょうしつにきてくれて、いっしょにあそんでくれます。サマーキャンプのとき、きもだめしがとてもこわくてないたら、おねえさんたちが「だいじょうぶ?」「もうこわくないよ」といつてくれました。わたしもやさしいおねえさんになりたいです。

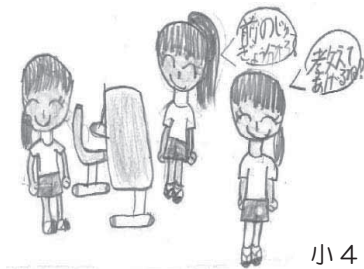
小1

▽ぼくの団の分団長は4年生です。分団長は、いつも一番に来ていてあいさつを大きな声でしてくれます。ぼくが1年生の時のさいしょのころは、毎日家に呼びに来てくれました。分団長は、いつもやさしくしてくれるから、朝から気持ちよく学校に行くことができます。ぼくもいつか分団長になった時は、小さな子にやさしくしてあげたいです。

小3

▽私が早たいして、じゅぎょうが進んでわからない時、友だちがじゅぎょうのことを教えてくれました。なので、大切なことやだれといっしょに発表するかわかりました。その時、私はとてもうれしかったです。私は自分のクラスがとても好きになりました。だから、このクラスは友だち思いのクラスだと思いました。私のクラスは自まんのクラスです。私も友だち思いの人になりたいです。これからも友だちを大切にしたいです。

小4



小4

▽いつも休み時間にぼくはサッカーをやります。友だちとサッカーをやる
といつも楽しいです。○○さんは、ぼくがシュートをしたり、パスをした
りすると「ナイス」と言ってくれるので、○○さんとサッカーをするが大
好きになりました。だから、みんなが何で遊ぶかなやんでいる時、ぼくは、
まよわずかならずサッカーにします。

小3

▽最近、バレーボールを始めた私は、あまり友だちが出来ず困っていまし
た。バレーボールを始めてから3ヶ月ほどたった今、ボールを使う時、い
つしよにやる子などにいっぱい話しかけてもらえてうれしいです。私は人
見知りであまりしゃべりかけられないので、次は私から話しかけて友だち
を増やしていきたいです。

小6

▽私の学校は帰りの会に「よさみつけ」というものがあります。今日の中で仲間の良い所を見つ
け発表する時間です。よさみつけで発表するために1日気をつけて見ていると、毎日、当たり前
のようにやっている係の仕事の最後までやり切る姿や呼びかけの声などすぐく聞こえてきてそ
の日はたくさん話すことができました。仲間の良い所を見つけ、それを自分でも生かせられるよ
うにしたいです。

小6



小3

▽私は、学校があまり好きではありません。理由は友だちが少ないからです。みんなはたくさん友だちがいるのに何かさみしいなと思います。けれど、いい友だちもいます。その子は、私がひとりであると話しかけてくれます。その子がいるおかげで今では学校が好きになりました。小5

▽私は、よく家で友だちと勉強会をしています。ある日、その友だちと何気なくした会話です。友だちは「いつもわからないところとか教えてくれてありがとう。これからもよろしくね」と言ってくれました。そのとたん、私の胸は、喜びとうれしさでいっぱいになりました。私も「いつも私と勉強したり、仲良くしてくれて本当にありがとう。こんな私でもいい？」と言いました。友だちは「いい！」とすぐに答えてくれました。私は友だちがそんな風に私のことを思ってくれたとは知りませんでした。なのでこの言葉は私の胸の中にいつまでもあります。小6

▽今年の2月ごろ、友だち4人と私で友だちのたん生日会をしました。しかも、サプライズでやったので、その子にバレないようにするのは大変だったけど、とても楽しんでもくれたのでうれしかったです。その時のみんなの笑顔、みんなで食べたケーキの味はまだ忘れられません。小6



▽私は、プールがにがてです。なので、25mがずっと泳げませんでした。でも授業のプールの時に「25mをはかります」と先生が言いました。私は25m泳げるか心配でした。いよいよ私の番の時に、みんなが私をほげましてくれて「がんばって」とか「だいじょうぶだよ」とか「あそこに〇〇ちゃんの好きなものがあるよ」とかいろいろ言ってくれました。私が泳いでいて息をすう時に、みんなが応えんしてくれる声が聞こえてがんばろうと思いました。あともうちよつとところで息が苦しくなったけど、がんばったらやつと25m泳げました。みんなも私もよろこんで、ものすごくうれしかったです。

小5

▽にゆうがくしてからいつもわたしのおせわをしてくれる6年生のおねえさんがいます。そうじのじかんにてつだってくれたり、こまったことがあるとたすけてくれます。はのそめだしもやってくれました。やすみじかんにあそんでくれたこともあります。いつもえがおでやさしくはなしかけてくれるおねえさんが大すきです。わたしも6年生になったら、そのおねえさんのように1年生にやさしくしんせつにしたいです。

小1

▽1年生とかかわる時、初めての子でも友だちは進んでかかわってもり上げて仲よくなっていました。ぼくもまねしたいと思いました。1年生も楽しそうでした。

小6



小6

▽2学期最初の日、教室に入ろうとしたら、友だちのRちゃんが出むかえてくれました。カバンのかたづけをして、私の自由研究の本数を見てRちゃんが「こんなぶあついの2さつもあるんだ！夏休みの研究、すぐがんばったんだね。すごいね！」と言ってくれたのでうれしかったです。夏休みがんばって自由研究をやったので「すごいね！」と言われたことは、私の宝物になるくらい、二学期の最初の日からうれしい出来事でした。

小5

▽ぼくが算数の角度の問題がわからなかった時、友だちが、ぼくにやさしく教えてくれたのでうれしかったです。次は、友だちに「ここをこうやるといいよ」と教えたいと思いました。そのためには、まず、ぼくは勉強をがんばりたいと思いました。

小4

▽私と仲よくしてくれるRちゃんは応えん団です。いつもみんなの前でしゃべったり、まとめたりできてすごいなと思います。Rちゃんは頭がよくて、私の苦手な体育もできます。算数がわからない時「ここはかけ算するよ」とか「こわかる？」とかいろいろヒントをくれます。Rちゃんは応えん団だから、最近、休み時間に遊べないけど「がんばれ！」と言うと「ありがとう」と言ってくれます。私はそんなRちゃんが大好きです。

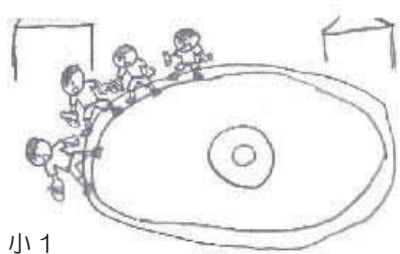
小6



★がんばった運動会

▽小学校に入ってはじめてのうんどうかいがありました。はじめからあかぐみがかつていて、このままゆうしようにできるとおもっていたら、こうはくりレーでぎやくてんされてまけてしまいました。ぼくはまけてくやしかったけど、しろぐみだったおにいちゃんのさいごのうんどうかいがゆうしようにおわることでできてとてもうれしそうで、それをみていたらぼくもうれしくなりました。

小1



小1

▽わたしは、はじめての小学校のうんどうかいで、はずかしかったけど、おうえんもがんばりました。おにいちゃん、おねえちゃんのはしっているすがたが、とてもかっこよかったです。小1

▽わたしは、運動会でかけっこで走る時に、友だちに「がんばって」と言われおうえんされました。そうしたら、練習の時よりも速く走れました。友だちにおうえんされると、がんばる力がたくさん出るし、わたしが走りおわったら、すな遊びをするのではなく、まっさきにおうえんする気持ちになりました。そしてみんなでおうえんし合うとがんばれるということがわかったのです。

小4

▽運動会で同点ゆうしょうをしました。みんなでいっしょにがんばったおかげもあるし、赤組白組どちらも全員がだんけつして全力であきらめずにやり切ったからだと思います。何だか心があたたかくなりました。

小3



小3

▽運動会でわたしは、リレーに出ました。わたしは、1番の子をぬかせられませんでした。わたしたちは2位でした。1位じゃなくてだん席に行って泣いていたら、クラスの子に「だいじょうぶ。リレーに出てすごいよ」「○○ちゃんのすごいことはかみ様が見てくれたからゆうしょうしてるよ」と言っでなぐさめてくれました。結果は引き分けて、ひろがりゆうしょうも引き分けでした。「ほら○○ちゃんのことかみ様が見てくれたからだよ」と言っでくれました。わたしはとってもうれしかったです。クラスの子たちありがとう。

小4

▽私は、小学校最後の運動会でとてもきん張っていました。特に組み立て体操では、心臓バクバクでした。私は、とう立が苦手で練習の時は、よく失敗していました。「ちゃんとできるかなあ。だいじょうぶかなあ」私は、心配でそんな言葉がつい出てしまいました。そんな時、友だちのHさんが「だいじょうぶだよ。きつとできるよ」と言っでくれました。たった一言だったけど、少し安心できました。おかげで本番では「だいじょうぶ。きつとできる」そう信じたら、たのしくやり切ることができました。Hさんありがとう。

小6

▽運動会の個人走での出来事です。私は足がおそくて一度も1位をとったことがありませんでした。でも友だちが、がんばって教えてくれて、今年、初めて1位をとることができました。その時、私ももちろんうれしかったです。そして同時に、友だちが自分のことのようによこんでくれました。私は、その友だちにとっても感謝しています。

小6

▽私は、6年生だから、小学校最後の運動会です。その運動会でちょっといい話がありました。6年生は100m走があります。私といっしょに走る子はみんな足が速くてちょっと心配でした。でも、私が走る準備をしていると、団席の方からみんなが「がんばって！」と応援してくれました。私はとてもいい気持ちになりました。結果は1位じゃなかったけど、私は応援してくれたおかげで全力で走れたし、他の子が走っている時、たくさん応援することができました。

小6

▽運動会の時に、私は紅白リレーで選手として走りました。私は、紅白リレーで一度も1位を取ったことがありませんでした。もぐもぐタイムの時に、お父さんやお母さんやお兄ちゃんが「上半身を少し前にたおすといいよ」と言ってくれました。コツを教えてくださいてもうれしかったです。そして、紅白リレーで、私のチームは1位になりました。すっごくうれしかったです。1位になれたのは、チームのおかげでもあるし、コツを教えてくださいました家族のおかげだと思います。ありがとうございます！

小4

▽ぼくは運動会のこう白リレーの選手に選ばれました。そして当日、足がいたくなり自信がなくなってしまいました。でも、友だちが「大じょうぶ、〇〇ちゃんなら走れるよ」と言ってくれたので、自信ができました。じっさい走り、みごと1位を取れました。やっぱり、あきらめないことが大切だと思いました。

小4

▽リレーのせん手をきめたとき、いっしょうけんめいはしったけれど、3位になってしまいました。そのとき、ともだちが「すごいじゃん」と言ってくれました。せん手にはなれなかったけれど、そのことばを聞いて力をぬかずさいごまで本気でがんばってよかったと思うことができました。

小2

▽私は、今年、応えん団になりました。ふりつけが覚えられなかったり、たくさん練習があった時は「応えん団なんかやらなきゃよかったな」と思う日もいくつかありました。でも、家族やおばあちゃん、おじいちゃん、友だちなどが「がんばってね」と毎日言ってくれます。「がんばってね」と言われると「やりたくない」という気持ちもふっ飛びます。私の心のおく深くには、いつも「がんばってね」の声がひびいています。

小5



小5

▽応えん団にりっこうほする前、私はやりたい気持ちもあつたし、応えん団になつてからのじしんが持てなかつたりする時がありました。3週間くらい前に先生が「応えん団にりっこうほする人は、紙に書いて応えん団になるためによびかけをがんばってください」と言いました。私は、応えん団にりっこうほしそうな人の顔を見ました。すると、ニコニコしながら先生の方を見ている子がいました。わたしは「すごいなあ」と思いました。休み時間にその子が、私のつくえの前で「ねえいっしょに応えん団がんばろう！」と言ってきました。私は、がんばってみようかなという気になりました。そして、次の日、応えん団をきめる日が来ました。私は、友だちといっしょに応えん団になりました。私は、その子のおかげで応えん団になる気持ちがついたので、きつとたっせいかんがあるのだろうと思いました。

小5

▽小学校最後の運動会で私は、応援団でした。最初はしつかり声を出せるか、自分の意見はちゃんとと言えるか不安になったこともたくさんありました。でも先生やお母さんが「何もえんりよしくなくていい」と言ってくれました。とくに、私は教えるのが苦手で言葉がつまってしまうこともよくありました。でもわからない子がいたら、すぐちがう子が教えてあげることもありました。だんだん、全体がまとまってきて、最後には全校がちゃんとまとまりました。これは、全員の協力があつた結果だと思いました。

小6

▽ぼくは、応援団長です。団長なので、みんなより人一倍努力して声を出して気合を入れないといけません。ある練習の時に、ぼくは声がかれてしまいました。その時、副団長のEさんや、応援団員のSさんが率先して声を出してくれました。その時までぼくは一人でがんばっていると思っていただけ、みんないっしょにがんばっているということに気付きました。これからは、一人だけでがんばらずに仲間にあたよって残りの学校生活も楽しく過ごしたいと思います。

小6

▽昨年の運動会の時、私は応援団の団員に立候補しました。一生けん命練習して本番を迎えました。結果は、総合優勝はとれたけど、応援優勝はとれませんでした。とてもくやしかったです。友だちが「また来年がんばればいいよ」と言ってくれました。その一言でとても心が軽くなりました。今もまた、応援団の団員となり、応援優勝がとれるようにがんばっています。

小6

▽運動会で応援団長をやることになりました。不安やきん張でドキドキしていました。そんな時、中学生のお兄さん、お姉さんが「応援団いっしょにがんばろうね」や「応援団長がんばってね」と声をかけてくれました。小学生のころから、いつも私をかわいがってくれたお姉さんの優しい言葉。同じ分団だったけど、あまりしゃべったことがなかったお兄さんがかけてくれたうれしい言葉に勇気もらいました。応援団長がんばろうと思いました。

小6

おクラフス・習い事といっしょうけんめい

▽ぼくは、土曜日と日曜日に野球をしています。ぼくが失敗をしてしまった時、友だちが「がんばれ。やればできるよ」とおうえんしてくれます。また、ぼくがどうしてもうまくやれない時には、かんとくが「こうするといいよ」とアドバイスをくれるので、がんばろうと思います。友だちがおうえんしてくれるので、ぼくも失敗している子がいたら、おうえんしてあげたいと思いました。ぼくは、失敗することが多いけど、成功すると、かんとくやコーチ、お父さん方が「今日はずよかったよ」とほめてくれるので、成功を続けたいと思いました。

小4

▽ぼくは、今年、スポ小野球に入りました。ぼくの友だちは、3・4年から入っているのですが、わからないことをたくさん教えてくれます。最初に教えてもらったことはあいさつで、かんとく、コーチ、ほご者、近所の方がみえた時は、動きを止め、ぼうしを取り、大きな声であいさつをします。グラウンドに入る時、グラウンドから出る時、必ずぼうしを取ってグラウンドにあいさつをします。また、野球は物を大事にします。ボールをなくした時は、グラウンドを15周走ります。なので、みんな、道具を大切にしています。野球が上手になることも大事ですが、あいさつや物を大事にするということが大切だと知りました。野球を始めて大切なことを教えてもらえてよかったです。

小5

▽ぼくは、野球の試合で初めてバッターになりました。「あと一回でアウトになる」と思っていたら、友だちが「だいじょうぶ」や「いいよ。おちついて打ってこ」と声をいっぱいかけてくれたので「自信を持って打とう」とやる気になりました。ありがとう。

小4

▽わたしは、ソフトボールを習っています。習って1年目です。ソフトに行く前は「行きたくないな」と思います。だけど、ソフトが終わったら「楽しかった」と思います。わたしは「なんで行く前は行きたくないのに、行った後は楽しかったんだろう」と思いました。それは、ソフトをたくさんやっているうちにわかりました。わたしが、いいバッティングをしたり、いいプレーをすると、かんとく、コーチや仲間が「ナイスバッティング」などと言ってくれます。そう言われるとわたしはうれしく思い、次もがんばろうと思います。わたしはそういう仲間がいるから楽しいんだと思いました。

小4

▽私は、ソフトボールをやっています。試合の時に、先に点を入れられてしまって泣いていた時、お母さんたちが「だいじょうぶだよ。がんばれ！」と言ってくれてうれしかったです。そのおかげでがんばれました。

小6



小6



小4

▽ぼくは、サッカーをしています。2年やっているけど、まだへたくそです。ひとつ上の4年生がじょうずで、ぼくたちはあんまり強くないから、し合の時は、きんちょうしました。でも4年生が声をかけてくれたのでうれしかったです。

小3

▽ぼくは、サッカーをしています。ある日のし合で対戦チームの子が、し合中に転んでうでをいためてたおれてしまいました。その時に、ぼくの子も、対戦チームの子もすぐに転んだ子の所にかけてよって声をかけたりして、その子の具合を気にかけていました。し合では、対戦チームだけど、ケガをしたり、体をいためた時は、対戦チーム関係なく、みんなの助ける思いやさしさに、心があたたかくなりました。

小4

▽私は、剣道をやっています。なかなかうまくめんが当たらなくて、くやしかったです。でもKさんが「手をまっすぐに伸ばすとめんが当たるよ」と言ってくれました。そしてKさんと練習を続けました。そうしたら、うまくめんが当たってすごくうれしかったです。まだ、難しいわざもあるので、その難しいわざもKさんに教わり、そのKさんを抜かすくらい強くなり、全国大会で勝ち進みたいです。がんばります。

小6



小4

▽私は、空手を習っています。空手には型と組手があります。前、私は、型の大会に出ました。一回戦しかないので、2人のどちらかがゆう勝します。相手は同じ所で習っている稲津小の人でした。私はできるだけ大きな声を出し、きびきびできるようにしました。そしていろんな人が息をころして見ている中、えんぎをしておりました。そして結果は：勝ちました。後から聞く、声が大きかったそうです。先生がきびしく指導してくださったし、いろんな人が応援をしてくれたからだと思います。

小5

▽わたしは、ピアノを習っています。ある日、むずかしい曲の宿題が出ました。わたしは、初めじょうずにひけませんでした。でも家族のみんなが「すごいね！お母さん、こんなむずかしいのひけないよ」とか「じょうず」と、うれしい言葉を言ってもらえてもつとやる気が出てきました。そして、ピアノの先生に聞いてもらって「すごいね。先生は小さいころこの曲ひくのに時間がかかったけど、一週間ひけるなんてびっくり！」と言ってくれて、これからもつとピアノをがんばりたいなと思いました。

小4

▽テニスの時、いっしょに組む人がいて、ぼくはそんなに上手じゃないけど、いっしょに組む人はとても上手でした。ぼくがミスしても「おい」ともおこらずに「だいじょうぶ」や「まだ同点だから」と言っってはげましてくれて、この組む人でよかったと思いました。

小6

▽ぼくは、乗馬をやって2年です。ぼくは、先生に「運動しんけいいいね」と言われて「乗馬をもっとやりたい」と、やる気が出ました。先生に馬に乗るやり方を教えてもらって「一人で乗ってみて」と言われて乗ってみたら、先生に「きがるに乗れるね」と言われて、今では「忍者みたいだね」など言われて、とてもうれいす。これからもきがるに乗りたいたす。

小5

▽私は、チアダンスのリーダーをやっています。発表の時に、年長の子や1年生を集めたり、連れて行ったりしました。私がおどり終わってお母さんのところに行ったら、「みんなをまとめられていてすごいね。と、いろいろな人が言ってたよ」言ってくれました。すぐくほめられたのでうれしかったです。

小5

▽私は、ダンスを小さい時からやっています。初めてダンスレッスンをする場所に行く時「だいじょうぶかな？」と心配していました。ですが、やさしい先生、やさしくておもしろい仲間が、まだおどることができない私に「教えてあげる」と言ってくれました。次は、私がダンスを教えてあげたいなと思いました。

小6



小6

▽私は、習い事でダンスをやっています。3年生のころから始めました。始めたばかりのころは、他の学校の子ばかりいたため、なかなかみんなとしゃべることができず、ひとりでいました。だけど、ある日、同じチームのMちゃんが「おはよう」と言ってくれました。こんな当たり前のことも、私は本当にうれしかったです。今では私も6年生になり、新しい子も入ってきました。ひとりである子がいたら、あの時のMちゃんのように声をかけています。そしてなかなか話しについていけない子がいたら、「Aちゃんって何小学校?」「かみの毛切ったね」などさりげない言葉でもかけるようにしています。これからも、こういったコミュニケーション力などを大事にしていきたいと思います。

小6

▽ぼくは、スイミングを習っていて、今7級です。今までコーチはきびしいと思っていましたが、説明をする時に、すごくやさしく説明してくれました。それを見ていたお母さんは「今まできちんと説明を聞いていなかったけど、今日は話が聞けていたから」と言いました。

小5



小5



小6

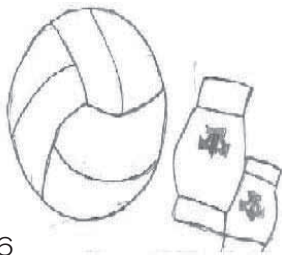
▽私は、バレーボールクラブに入っています。練習で試合をやりました。

私のチームは、6年生女子のチームです。その子たちは、だれかが失敗しても「だいじょうぶ」「次はがんばれ」「ドンマイ!」とはげましてくれま
す。私がかうまくいかない時も、決めた時も声をかけてくれます。なので、
「次はがんばろう」「もう失敗しないぞ」という気持ちになれます。このチ
ームで県大会に行つて一勝できるようにたくさん声を出してがんばりたい
です。今は、別の小学校に通う子もいるけれど、中学生になったら同じ学
校になるので、仲間と協力することを大切にしていきたいです。

小6

▽私は、バレーボールをやっています。中学生になると部活の他にもバレー
ボールのクラブがあります。私は、クラブに入るかどうかやんではいま
した。ちようどなやんでる時、いっしょにバレーボールをやっている友
だちと中学生の試合を見に行きました。中学生は、スパイクやブロックも
かんぺきでした。今まではなやんでいたけど、クラブに入ろうと思いまし
た。私も今の中学生みたいなたッカードになれるようにがんばります。

小6



小6



小6

近所の人のつながり

▽いつもラジオたいそうに行くと、ごみすて場の前でおばあさんがごみすて場をきれいにしているのを見ます。ぼくもまねしたいです。

小2

▽わたしが、学校から帰る時や妹と遊んでいた時などに、田んぼや畑にいたおばあさんが「おかえり」や「なにか楽しいことあった？」など聞いてくれます。妹と遊んでいても、会うとあいさつをしてくれ「この野菜あげるね」と野菜をくれます。その野菜はとてもおいしかったです。

小3

▽ぼくには、やさいをとどけてくれるおじさんがいます。いまの家に引っこし
てくる前のアパートで友だちになりました。アパートのときから、いまもやさ
いをとどけてくれます。おじさんのやさいは、しんせんでとてもおいしいです。
やさいがいにもおみやげをくれます。ぼくは、おじさんのやさいもおじさん
も大すきです。おじさんみたいなやさいを作りたくて、お父さんとやさい作り
をしています。でも、なかなかじょうずにできません。おじさんがときどき手
つだったり、おしえてくれたりします。いつかおじさんみたいなおいしいやさ
いを作りたいです。おじさん、いつもありがとうございます。

小2



小2

▽私は、近所の人に、いつも野菜をいただいています。いただいた野菜はどれもおいしいです。それに近所の人の想いがつまっているのです、すごくおいしく感じました。私も大切に想われているのだと思いました。私も近所の人を見習って相手を大切にしたいです。

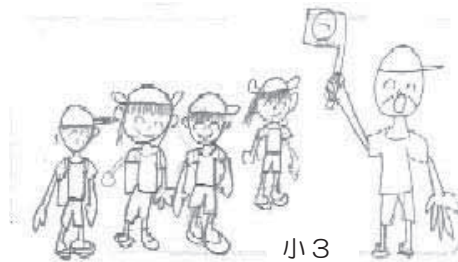
小5

▽下校の時に、毎日ボランティアの人が、「車が来るよ」など言って、みんなを見守ってくれます。ボランティアの人は、みんなを安全に下校させてくれているんだと思いました。いつも見守ってくれてありがとうございます。

小4

▽いつも登校中に元気にあいさつをしてくれるおじいさんとおばあさんがいます。おじいさんは、あいさつだけでなく、じゃんけんもしてくれたり、地いきのことを教えてくれたりします。おばあさんは、分だんの人数が少なかった時に、きゆうりをくれたこともあります。わたしも元気なあいさつをし、そのおじいさん、おばあさんのように親切な人になりたいです。いつも見守ってくれてありがとうございます。

小3



小3

▽ぼくは、きんじよのおばあさんたちに名まえでよばれています。だから、ぼくも、おばあさんたちのことを名まえでよんでいます。とてもよろこんでくれます。

小1

おもしろい出来事

▽わたしは、ママのお手ついでで友だちとカレーを作ったことがあります。ざいりを切るところからおさらに入れるところまでぜんぶ自分たちでやりました。味見をおねがいすると「おいしい」「おかわり」と言ってくれてうれしくなりました。友だちのママに食べてもらったら「世界一！」と言ってくれたので友だちといっしょによろこびました。カレーを作るのが大すきになりました。

小3

▽ぼくは、クラスの中で身長が小さい方です。時々友だちに「おまえ身長小さいな」と言われます。でも、ぼくが住んでいるマンションの大家さんは、毎回会うと「身長大きくなったね」と言ってくれてうれしいです。大家さんは、ぼくのことをたくさんほめてくれるからいい人だと思います。大家さんのおかげでぼくは身長が高くなる実感がわき、毎日がとても楽しいです。ぼくも人のことを大切にする人になりたいです。

小6

▽ある日、ぼくが野球を見ていると、外国人選手が笑顔を見せました。ぼくは、外国人がこわいイメージがありました。しかし、この笑顔を見たら、外国人ってやさしいなと思いました。ぼくは外国人とも仲良くなれそうでした。

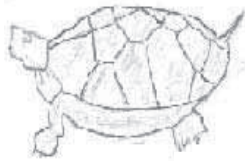
小6

▽たなばた祭の花火大会の次の日にぼくは、花火の片付けに出かけました。開会式では「花火大会は、花火を片付けるまでが花火大会ですよ」と言っていました。だから、ぼくは、最後まできちんとそうじをしようと思えました。みんなも花火の片付けをしんけんに行っているのです、この町をきれいにしようという気持ちも伝わってきました。これからは花火大会があるので、花火の片付けに参加して、瑞浪市をきれいにできるようにしたいです。

小6

▽ぼくは、小学校1年生の時からかめを飼っています。かいはじめたころは、えさをあげるとびっくりしてぼくをこわがっているようでした。まい朝、学校へ行く前にかめにわすれずにえさをあげるのはぼくのしごとです。今では、ぼくを見るところしそうによつてきます。やっとかめと友だちになれた気がします。これからもかめを大事にお世話していきたいです。

小3



小3

▽わたしは、4月からオカメインコを飼いはじめました。オカメインコを飼ってよかったことは、家族の会話がふえたことです。ごはんを食べる時「今日はオカメインコがピーピーないてかわいかったよ」などと話して笑顔もふえました。よかったです。これからはオカメインコが元気で健康に過ごせるようにお世話をしっかりできるようにがんばりたいです。

小5



小5

▽大きなたいふうがきた日、いえがていでんしました。「テレビもトイレもつかえない、ごはんもつくれない」ってママがいつていました。ちかくのおばあちゃんちにいつてごはんをたべておふるもはいつてかえりました。ねるじかんになるといえの中があかるくなつてみんなのかおが見えてほつとしました。

小1

▽夏休みの自由けんきゆうのために、工場見学へ行つた時のことです。お客さんが大ぜいいて、工場の人がとても大へんそうだったけど、自由けんきゆうのためのしつもんによさしく答えてくれたのでうれしかったです。わたしは、ゆうきを出して言えてよかつたなあと思ひました。わたしも大へんだけど、やさしく答えられる人になりたいなと心から思ひました。

小3

▽家族で黒部ダムに行きました。トロリーバスに乗つたら人が多くてする席がありませんでした。すると、知らないおじさんとおばさんが「ここいいよ」とやさしくゆづつてくれたので、心がポカポカになりました。え顔になると自分もみんなも気持ちがいいので、知っている人だけじゃなく、高れい者の人にもやさしくしてあげたいです。

小4



小4

▽私がある店へお買い物に行った時、駐車場にゴミが落ちていました。私は車の中にいて、そのゴミを拾うことはできませんでしたが、その近くに停まっていた車からお兄さんが出てきて、ゴミを拾っていました。自分が落としたわけでもないのに、拾っていてすごいなと思いました。私もまねしたいです。

小6

▽私のひいばあちゃんは、今、病院に入院しています。たまに病院に行く
と、かんごしさんがいます。足こしの悪いひいばあちゃんは、ねてばかり
います。そんなひいばあちゃんにやさしく対応してくれるかんごしさん。
シーツをかえるのにも体が動かなく大変です。でも、ひいばあちゃんにや
さしく声をかけ、しんちようにやってくれるかんごしさんはとってもすご
いと思います。そんなかんごしさんは私のあこがれです。ありがとうございます
います。これからもがんばってください。

小5

▽わたしは、夏休みに華道・茶道体験教室に行きます。わたしは、いつも
その時が楽しみです。そして、体験教室に行くと、先生が「いつも来てく
れてありがとう」と言ってくれます。私は、こちらこそやらせてもらえて
うれしいのに「ありがとう」と言われてとてもポカポカしました。

小5



小5

▽お母さんと買い物に行った時です。会計が終わった後、買い忘れた物があった、私はそれを買
いに行きました。そしてレジにならんでいると、前にいた男の人が「先にどうぞ」と言ってくれ
てうれしかったです。

小6

▽私のお母さんは買い物に行くときレジの人に「ありがとうございます」といつも言います。「何でありがと
うと言うの？」と聞くと、「ありがとうございますと言われてイヤな顔をする人はいないよ」と言われまし
た。たしかにそうだと思います。私ははずかしくてあいさつがあまりできないので、これから
はたくさんの人に言えるようになりたいです。

小5

▽ぼくの家の近くには五平餅を売っているOさんという人が住んでいます。Oさんの作る五平餅は、だんごのように三つに分けられた餅がくしに
付いていて、みそもクルミが入っていて、ふつうの五平餅より香ばしくて
すごくおいしいです。五平餅は一本百円で売っていて、ぼくは買う時、十
本以上たのんで家族みんなで食べています。しかもOさんはいつも一、二
個おまけをしてくれて夏などの暑い日はアイスキャンデーもくれます。
すごくやさしくて明るい人なので、いい人だなとぼくは思います。すごく
おいしいのでこれからも食べたいと思います。

小6



小6

▽夏休みに愛知県にある祖父母の家からおばあちゃんといっしょに電車で瑞浪まで帰ってきた時の話です。私は、その時、荷物がいっぱいあり、おばあちゃんからもらった大きな紙ぶくろに物をつめて持っていました。けれど、瑞浪駅に着いたとき、紙ぶくろの底がやぶれ、中の物がこぼれてしまったのです。すると、すぐ近くにいた高校生くらいの女の人2人がかけつけて拾って別のふくろに移すのを手伝ってくれたのです。お札を言って立ち去った後、おばあちゃんが「愛知県の人とは違って瑞浪はやさしい人ばかりだねえ」と言ってくれました。私が住んでいる瑞浪市をほこりに思えたしゅん間でした。だから私もあの女の人たちみたいにいろんな人に親切にできる人になりたいと思いました。

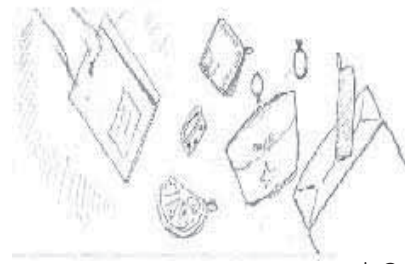
小6

▽いつも学園台を通るとき、ご夫婦がていねいに毎日少しずつ歩道の草取りをされています。長い間かけて一生けん命やっている姿を母と二人で見ている、見かけるたびにしゃべっています。いつか「ありがとうございます」とお礼を言いたいです。

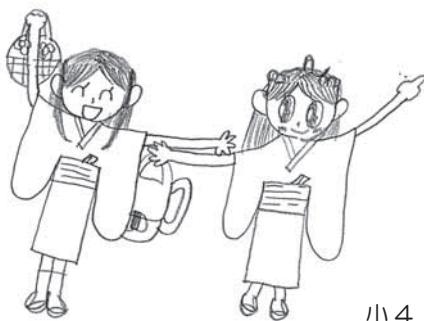
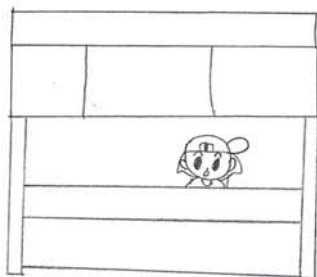
小6



小6



小6



小4

中学校編



✿ あいさつでニコニコ笑顔	47
✿ 家族っていいな	50
✿ 友だちっていいな	57
✿ がんばった体育大会・体育祭	64
✿ 部活・クラブ仲間とのきずな	67
✿ 地域のひととのつながり	77
✿ ボランティア	80
✿ うれしい出来事	82



▽家が朝早く登校していたら、前にお年寄りの夫婦がいました。私は一人だったけれど、勇気を出して「おはようございます」と挨拶をしました。すると「おはよう。挨拶してくれてありがとう。えらいね。これから部活？」と言ってくれました。私が「はい」と答えると「部活、がんばってね」と言われました。勇気を出して挨拶をすると、相手もうれしいし、自分もうれしい気持ちになるので、これからも、地域の方にたくさん挨拶をしたいです。

中1

▽家の前のおぼさんや家の周りの人、出会った人に、いつも朝に「おはようございます」「いつてらっしゃい」と声をかけてもらったり、帰りには「おかえりなさい」「こんにちは」と声をかけてもらっています。たまに話をする時もあります。その何気ない一言や、少し話をするだけでもいろんな人と仲良くなれたりしてとても楽しいです。だから、これからは声をかけてもらうだけでなく自分から声をかけたりして地域の人と仲良くなっていけたらいいと思います。

中2

▽私が朝早く登校していたら、前にお年寄りの夫婦がいました。私は一人だったけれど、勇気を出して「おはようございます」と挨拶をしました。すると「おはよう。挨拶してくれてありがとう。えらいね。これから部活？」と言ってくれました。私が「はい」と答えると「部活、がんばってね」と言われました。勇気を出して挨拶をすると、相手もうれしいし、自分もうれしい気持ちになるので、これからも、地域の方にたくさん挨拶をしたいです。

中3

▽「こんにちは」と工事現場の方にあいさつをしたら「こんにちは」と返してもらった後に「中学生？がんばれよ」という言葉をいただきうれしい気持ちになりました。

中3

▽ぼくが、友だちの家に自転車で帰っている時や登校している時や下校している時に、よく犬をつれて散歩しているお婆さんがいます。その人は、いつも「おはよう。いつてらっしゃい」や「おかえりなさい」と声をかけてくれます。

中2

▽ぼくは、学校に行く時、帰る時に会おう人に挨拶をしている。その時、挨拶を返してくれる人がいると、ものすごく元気が出ます。挨拶を返してくれる人の中に、たまに「ごころうさま」や「いつてらっしゃい」など言ってくれる人がいることがぼくはうれしいし、元気が出ていいので、このままぼくは、挨拶を続けていきたいです。

中1



中2

▽毎朝、地域の人と会うと「おはよう」や「勉強がんばってね」などと声をかけてくれます。地域の人が話しかけてくれるといつもうれしくなります。なので、これからは地域の人に自分から話しかけて地域の人との仲を深められるようにしたいです。

中3

▽登校中の雨の日の朝、車もたくさん通っていて一人で横断歩道を通るのは少し不安でした。すると、黄色の服を着た小学生を安全に送る人が、中学生の私にも旗で車を止めてくれたので、安心して渡ることが出来ました。その後「いつてらっしゃい」と言ってくれたので、つい「いつてきます」と言ってしまうました。おばあさんにそう言ってもらってうれしかったし、感謝しています。私もおばあさんになったら、やさしくあいさつが出来る人になりたいです。

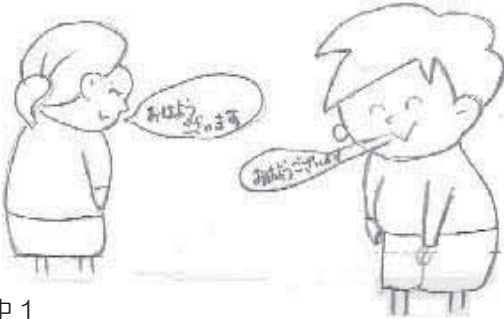
中1

▽私は、地域の人と関わるのが苦手で、挨拶もあまりしません。ある日、学校で「地域の人に挨拶をしよう」と言われ、恥ずかしながらも挨拶をしました。挨拶をすると、相手も自分もいい気分になるとわかりました。これからも挨拶を続けていきたいです。

中3

▽私は、土曜日に中学校の体育館で卓球の練習をしています。ある日、私が少し遅れて行くと、私の友だちが笑顔で「おはよう」と挨拶をしてくれました。心がポカーンと温まりました。その後、気持ち良く卓球の練習をやることが出来ました。私もいつでもどんな人にも笑顔で気持ち良く挨拶が出来るようにしたいです。

中1



中1

お家族っしゅいな

▽私はピアノを習っています。中学生になり、クラブや塾などでなかなか練習出来ず、課題曲がうまく弾けません。ピアノの送迎でお父さんに当たってしまうことが多いですが、お父さんはいつも優しく話を聞いてくれ声をかけてくれます。なかなか感謝の気持ちは言えませんが、いつかお父さんにピアノを弾きたいです。

中2

▽私の母は、毎日「水筒」を必ず準備してくれます。そして一言「今日も暑いけど頑張ってね」この言葉は、私に何よりもパワーをくれます。いつもいつも私のことを気にかけて応援してくれる母。本当にありがとう！期待に応えられるよう頑張ります！

中3

▽ぼくの母は、昨年足のケガをして一ヶ月以上入院していました。なので、家には父と姉とぼくでした。夕飯は隣に住んでいる祖母が作ってくれましたが、その他の家事はすべてぼくたちがやりました。ぼくたちが3人で協力してもとても大変でした。しかし、母は、ぼくたちが生まれて十年以上もこんなにも大変なことを毎日続けてくれていたんだと知り、改めて母親のすごさ、ありがたさを知ることが出来ました。これからは、少しでも自分が母の助けとなれるようにしたいです。いつもありがとう。

中1

▽ぼくのお母さんは、毎週土日、ぼくが野球をやっているため、朝早くに起きて弁当を作ってくれます。初めは普通のことだと思っていたけれど、ぼくのチームの子はコンビニ弁当の子がいま
す。それを見ていると何だかぼくは、手作り弁当で良かったと感ずます。だから朝早くから弁当
を作ってくれるお母さんに感謝したいです。

中1

▽私は母ととても仲が良いです。それ故、ケンカも良くします。この前も
塾へ行く途中にケンカをしました。でも、帰る時には説教混じりにいつも
通り話をします。お互いに謝ったりすることは少ないけれど、それでも十
分に仲が良いです。母とは本気で泣いて本気で笑って本気で怒って、そん
なことが出来るまるで親友のようです。おかしな話かもしれませんが、私
はこんなことが出来る母が大好きです。

中2

▽お母さんが皿洗いをしていた時「少し体調が悪いから手伝って」と言わ
れ、私は皿洗いをしました。終わった時「本当にありがとう。とても助か
ったよ」と言われうれしかったです。でも、体調が悪かったことを気づけ
なかつた私が少し情けなかつたです。これからは、周りの人のことをもつ
と気にかけて積極的に手伝いたいです。

中3



中2



▽私は、親に学校の話をしませんでした。聞かれても「楽しかった」と「特に何もなかった」で済ませていました。しかし、友だちの悩みの話を聞くと、助けてあげたいけれど、あげられない自分がいることに気が付きました。思い切って親に相談したら、すぐに解決することが出来ました。そして、少し親との会話が多くなりました。

中1

▽お母さんは、いつもぼくを習い事の場所に送っていつてくれます。お母さんはその習い事が上達するような願いを持っていると思います。ぼくは、そのお礼として、何をすれば良いだろうと思います。そしてぼくは、言葉ではなく習い事で、お母さんにお礼をしたと思います。このお母さんの気持ちがぼくを成長させてくれたのだと思います。

中1

▽母の誕生日の日に、初めてピーマンの肉づめを作りました。母の帰りが遅く一緒に食えることは出来なかったけれど、次の日の朝「おいしかったよ」と言ってくれたのでうれしかったです。

中1

▽私のお母さんは、仕事で疲れて帰ってくるのに、家で家事をしてくれます。そして、忙しいのに頼みごとを聞いてくれます。それはすごいことだなあと思います。

中1



中1

▽ぼくが中1になりたてのころ、中学校のことが全然分からず、わくわく感と共に不安もありました。ぼくは卓球部に入ったのですが、あまり上手いかず、少し学校が嫌になっていた時、お母さんが「いくら上手いかわなくてもいつかは上手いくものだから、あきらめちゃだめだよ」と言いました。これで、部活では下手でも球を返せたりすると楽しくなってきましたし、授業は楽しいなど思うと楽しくなってきました。これからもこの言葉を覚えておきたいです。

中1



中3

▽高2の耳に障がいを持っている兄がいて、耳が聞こえない上、かなり難しい性格で、付き合い方が難しかったのですが、前、私が泣いていた時、なぐさめてくれたので、うれしかったです。本人は、多分、私がどんな理由で泣いていたのかは、分からなかったと思うけど、普段、何も話さない兄が優しくしてくれてうれしかったです。

中3



▽私の兄はとても優しい人です。仕事が終わって疲れて帰宅した後でも勉強で分からない所を聞く、いつもていねいに教えてくれます。私も兄のようにどんな時でも誰かの為に行動出来るようになりたいです。

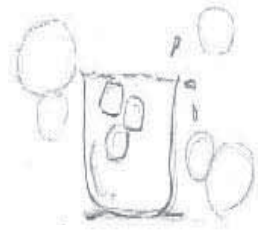
中3

▽私は習字を習っています。でもなかなかうまく書けません。家でお姉ちゃんに見せると「こうしたらいいんじゃない？」とアドバイスをしてくれました。次に習字に行った時は、言われたことを注意してやりました。すると、お姉ちゃんは「ここ上手に書けてるじゃん」と言ってくれました。すごく、うれしい気持ちになりました。私は、これからも習字を頑張っていきたいし、いろんな人を褒められるようにしたいです。

中1

▽受験生でもあり、今年の夏休みは勉強にとっても集中していました。頭が爆発しそうなくらいやっていたら、そこに妹が来て「お姉ちゃん、お茶持ってきたよ！」とコップいっぱいにお茶を持って来てくれました。その後「がんばってね」と一言かけ、去っていきました。妹にとっては普通にあったと思っているかもしれませんが、私はものすごくうれしかったです。改めて、妹の存在の大切さを知りました。

中3



中3

▽先日、ぼくは体調を崩しました。いつもは元気いっぱいな弟が、ぼくのことを心配して寝ているぼくを何度も見に来てくれました。気付かない所でとても心配してくれていたと知ってとてもうれしかったです。ぼくも、弟が体調を崩したり、留守番をしたりする時に、弟のことを気遣い守れるようにしたいです。

中1

▽7月末に、お母さんが赤ちゃんを出産しました。その赤ちゃんを毎日、お母さんだけじゃなく、みんなでお世話をしています。お父さん、おじいちゃん、妹でお世話をしています。家族が増えるのは良いことだなと思いました。

中2

▽私は、部活ではなく個人でゴルフをしています。けれど最近は成績があまり良くなく、これで大丈夫なのかとても不安でした。けれど、おじいちゃんとおばあちゃんが「大丈夫だよ。周りがなんか気にせずに自分のペースでやればいいからね」と前日に言ってくれました。その言葉を思い出しながら自分のペースでやったら、いい成績を出すことが出来ました。これからもその言葉を大切に頑張りたいです。

中1

▽私の親は二人とも仕事に出ていて私が帰ってもいません。でも、祖父と祖母が家にいてくれます。ある日、私は学校での部活でヘトヘトになって帰ってきました。「ただいま」も言わず部屋に入って倒れ込んだので、怒られるかと思ったのですが、なぜか祖母は何も言わず、私起きるのを待っていてくれました。後から「何であの時怒らなかつたの？」と聞くと、祖母は「あなたが今まで見せたことない行動をしたから、よほど疲れているのかと思って、そつとしておいたのよ」と言っただけで、祖母の思いやりと、その笑顔のおかげで、私も自然と笑顔になれました。

中1

▽ぼくが祖父の家に泊まっており、買い物に行くので手伝ってほしいと言われ、ついて行きました。そして、デパートでは買う物を探してあげたりしました。そしたら祖父は「頑張ってくれたから好きなお菓子を一つ買っていいよ」と言ってくれて、その時に「ありがとな」と言ってくれたのでうれしかったです。

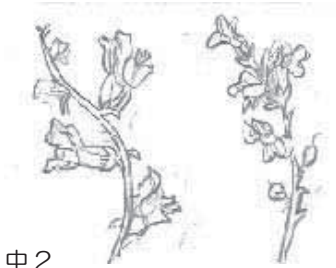
中1

▽「いってらっしゃい」「気をつけてね」学校、外出の時、両親が必ず言ってくれる言葉。兄弟がいる中で、しっかり私のことを気にかけて心配してくれるその言葉が少し迷惑な時もあったけれど、この言葉には「頑張ってるね」という意味が込められているのだと思う。そんな言葉に応えるために私は今日も「いってきます」と元気に言いたい。

中3

▽私の曾祖母は3年前に亡くなってしまい、前まで曾祖母が育てていた金魚草が私がかわりに育てています。その金魚草が少し前から枯れてきてしまい「もうだめなのかな」と思いました。でも、夏の初め頃にきれいなピンの花を咲かせました。私は、曾祖母が「花のように枯れてしまうような気持ちになっても、ずっと頑張ればいいことがあるよ」と言っているように感じ、心が温かくなりました。だから、私も夢に向かって花を咲かせられるように頑張りたいです。

中2



中2

☆友だちっていいな

▽中学生になり、人数が増えて今までよりクラスが増えました。私は、小学校の時に仲が良かった子と離れてしまいました。新しいクラスの子と仲良くなれるか心配だったけれど、勇気を持って話しかけてみたら、すぐに仲良くなる事が出来ました。そして、友だちの数も増えて毎日楽しい生活を送れています。

中1

▽ぼくには小学校の時、とても仲の良い友だちがいました。しかし、その友だちと5年生の時、ちがうクラスになってしまいました。それからはあまりしゃべることもなく遊ぶこともなくなりました。でも、そんな時、その友だちがある言葉を言ってくれました。その日は、ぼくの誕生日でした。その友だちは最近しゃべっていなかったのに「おめでとう」と言ってくれたのです。本当にうれしかったです。

中1

▽夏休みに勉強をしに行きました。なかなか解けない問題があつて少しイライラしていました。手が滑つて消しゴムが落ちてしまった時、前の席に座っていた後輩が「先輩、落ちましたよ」と言つて笑顔で拾つて渡してくれました。ささいなことかもしれないけれど、笑顔で渡せる後輩がとても素敵だと思つたし、心が温かくなりイライラもなくなりました。ありがとうございます。

中3

▽放課後、自分にはまだしなければいけないことがありました。なかなか遅くて時間がかかったため、クラスメイトが「まだ終わらないのか？」と聞いてきました。「まだかかるから先に行つて」と伝えました。ですが、クラスメイトは自分のする仕事が終わるまでずっと待っていてくれました。待たせて申し訳なかったという気持ちより、居ないと思っていたのに居てくれたことにうれしく思いました。自分もこれから仲間を大切にして、あと7ヶ月間過ごしていきたいと思
います。

中3

▽私はソロバン塾に通っています。他の学校の子がたくさんいて、いろんな友だちが出来ます。ある日、試験に落ちてしまった時、友だちが声をかけてくれました。「大丈夫だよ。次、がんばろうよ!」と言ってくれました。その言葉は、ものすごく落ち込んでいた私に、次の目標を与えてくれました。みんな良く使う普通の言葉だけど、試験に落ちたあせりなどがあつた私を落ち着かせてくれました。ライバルだけど、大切な仲間だからこそ助け合いたいと思いました。

中1

▽私はテニス部に入部しています。朝部活は早く、いつも大急ぎで片付けをしないと時間ギリギリになってしまうことがあります。この間、私が遅れて困っていると、同じテニス部のHさんがラケットを用意してくれました。私はとてもうれしかったです。私もHさんのように困っている人を助けてあげたいです。ありがとうございます。

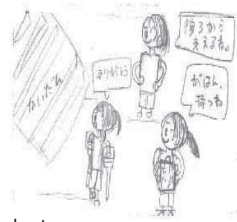
中1

▽私が部活のことですごく悩んでいて、気分が落ち込んでいた日がありました。その日の帰りに、同じ学年でテニス部の○○君が「家に帰って落ち着いたらラインして」と一言声をかけてくれました。私はその言葉だけでもすごくうれしかったのに、ラインを試してみたら「何か手伝えることがあったら言ってね」と言ってくれました。そこからは全く関係のない面白い話をしてくれました。そんな優しい友だちのいる私は、すごく幸せなものだなぁと改めて実感しました。

中2

▽私が骨折して、松葉杖の時、周りの友だちがたくさん「大丈夫？」「これ手伝おつか？」などと心配してくれて、階段を上がったたり下りたりする時も、荷物を持ってくれたりして、とても友だちのありがたみを感じました。他にもたくさんの方が助けてくれて、友だち、先輩、先生、家族：いろいろな人に感謝です。次は私が困っている人などを助けたいと思いました。

中1



中1

▽ぼくは、学校で行っている「ふれあい花活動」の担当です。この「ふれあい花活動」は当番制で水やりをする活動が主となっています。しかし、必ずいつも当番を守ってくれる人ばかりではありません。そんな時、ぼくは一人で水やりをすることが多いです。しかし、時間が少なかつたりすると、一人ではやれない時もあります。すると、K君はいつもぼくのことを自分から助けてくれます。いつも本当にありがとうございます。

中2

▽ぼくには嫌いな人がいます。その嫌いな人は剣道がとても上手です。大会では1位を取ることがほとんどでした。東濃大会前日、その嫌いな人に会いました。その時、自分が持っている剣道のコツを1から10全て教えてくれました。そのおかげで東濃大会では1回戦を勝つことが出来ました。今思うと、僕が嫌いだっただ人は「自分より上手な剣道をする」それだけの理由だったのかもしれません。自分でも勘違いがひどいと思いました。そして今では、嫌いな人が仲の良い友だちになりました。

中3

▽これは、卒業していった先輩の話です。同じ部活だったその先輩は、私が入部した時からいつも気にかけてくれて、苦しい時、嬉しい時、いつでももしっかり話を聞いてくれて、いろいろな言葉をかけてくれました。そんな優しい先輩が卒業する時、私に手紙をくれました。そこには、上から下までびっしり私へのメッセージが書かれていて、その中に部活の技術面について私のいいところとより強い選手になるためのポイントが書いてありました。その先輩は、最初から最後まで後輩のことを思っていてくれました。とてもすばらしい先輩でした。今は、私先輩の立場です。その先輩みたいになるのは難しいかもしれませんが、少しでも近づけるように毎日過ごしていきたいです。先輩にはとても感謝しています。私は、すてきな先輩に出会うことが出来て本当に幸せです。

中3



中3

▽私の妹が転んで口を切って早く帰ってきた時の話です。私は家にいた時、インターフォンが鳴りました。お父さんが玄関に出ると、妹の同級生の女の子が二人いました。二人は妹の提出物を届けに来てくれたのです。二人ともとても妹のことを心配してくれました。「○○ちゃん、口大丈夫でしたか？」と聞かれたので「大丈夫」と言うと、ホッしたような顔をして、提出物を渡して帰っていききました。質問して提出物を渡し帰る、ささいなことですが二人のとても優しい気持ちが良い分かりました。わたしも友だちを心配するということをしたいです。

中1

▽私が日直の時、帰りにする日直の役割を忘れてしまい、そのまま帰ろうとした時、同じクラスの子が「日直の仕事、まだ残っているよ」とわざわざ走って教えにきてくれました。そのおかげで私は日直をやり直さずにすみました。あの時は、本当にうれしかったです。感謝しています。

中1

▽ぼくは今年、初めてある委員会に入りました。2年生になり後輩に教えなければいけないのに「初めて」なので戸惑いました。あれはどうやったらいいいのか、一回一回考えながらとても大変でした。ある時、集会でアドリブで話さないといけないことがありました。何を話していいかわからず困っていた僕に先輩が「思ったことを言えばいい」とアドバイスをくれました。それだぼくは立ち直り、きちんと話すことが出来ました。とてもうれしかったです。

中2

▽私は級長だった。最初なった時は、とても不安だった。1年生学年全体の取り組み、クラスでの取り組みなどとたくさん忙しいことがあった。でもそんな時に、級長でないAちゃんが「がんばって！手伝えることがあったら言ってね！」などと声をかけてくれた。その一言で私はみんなのためにもつとがんばろうという気持ちになった。

中1

▽ぼくは、生活委員会に入っています。ぼくの仕事は、健康観察をしたり、歯みがきを始めるときに呼びかけをするというものです。歯みがきは、以前まで呼びかけをしても、なかなか反応してくれなく始められませんでした。しかし、同じ生活委員の〇〇君が、ぼくが呼びかけをする、「はい」と返事をしてくれるようになり、それにつられて皆も返事をしてくれるようになりました。とてもうれしい気持ちになりました。

中2

▽私の中学校は毎年合唱祭があります。2年生の時のことです。学級曲の練習で行き詰っていて、これで本当に間に合うのかとクラスのみんなが不安に思っていました。その時、級長さんが「昼休みにも練習しようよ」と提案してくれました。それから、クラスのみんなもやる気になって、毎日練習にはげみました。本番は何とか成功しました。みんなとてもいい笑顔をしていました。とってもいい思い出です。

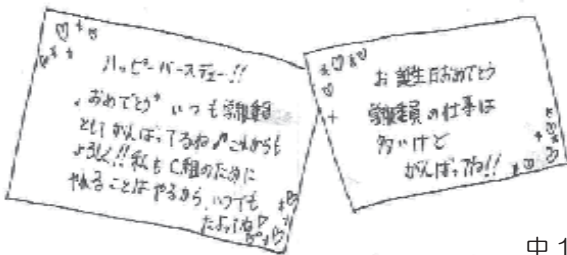
中3

▽私は合唱委員長をやっています。今年、私は中学3年生で、最後の合唱祭を迎えます。私がクラスの人に指示を出した時、みんながひとつになって歌っている姿や、声を聞くと、このメンバーで頑張っているなど実感し、心があたたくくなります。

中3

▽私は学級委員をしています。「仲間のために頑張ろう!」そんな気持ちで毎日頑張っていました。でもなかなか思うようにはいきませんでした。自分がどれだけ呼びかけをしても応えてくれず、私はこんな状態で大丈夫なのか?本当に仲間のためになっているのかな?と不安で一杯になりました。そんな時、私にとって楽しみな誕生日がやってきました。その日の帰りの会で合唱をした後にサプライズで「ハッピーバースデートゥーユー♪」とお祝いをしてくれてメッセージカードをクラスみんなからもらいました。家に帰ってじっくり見ると「いつもありがとう!」「おつかれさま!」「これからもよろしく!」など、たくさんメッセージがありました。「仲間はしっかりとひとりひとりのことを見てくれてるんだ。応援してくれているんだ」と感動しました。仲間がいるからこそ、今も頑張れているんだ!と強く感じたので、これからも頑張っていこうと思えました。

中1



中1

☆がんばった体育大会・体育祭

▽体育祭の時に、私はリレーでアンカーをやるのが嫌で仕方ありませんでした。そんな自信のない私に、友だちや先生が最後まで優しい言葉をかけ続けてくれました。結果は、あまり良くなかったけれど、友だちや先生のおかげでやりたくない場面でも最後までやり切ることが出来ました。自信がなくて、やりたくないと言っていた私に、優しい声をかけてくれてありがとう。

中3

▽体育祭の時、全校リレーでアンカーにバトンが渡って、みんな全力で応援した。相手チームがリードしていたのでより一層応援の声は大きくなった。そのおかげもあつてか、見事に抜かせ勝利出来た。自分たちの応援が結果に繋がったと思い、とてもうれしい気持ちになった。

中1

▽体育祭の大縄の時に、回し手の人が自主的に「今日、昼休みに大縄の練習やるから、外に出てよ」と毎日呼びかけてくれました。おかげで少しずつだけけれど、大縄を上手に跳ぶことができるようになりました。何回引つかかってもあきらめずに練習出来たのも、2人のおかげだと思っています。そして本番を迎えました、一回一回、集中して跳ぶことが出来ました。勝つたのは、1Aだったけれど、思い出に残る体育祭になったし、今までの記録よりも良い記録になったので、うれしかったです。2人のおかげで成功したと思います。本当にありがとう。

中2

▽私は、応援団にあこがれたので、軍リーダーになりました。練習では本気をまだ出していない人がいるなど不安になってしまっていたけど、周りの人たちが支えてくれたおかげで練習も本番も私が思っていた以上にやり切ることが出来たと思います。負けて悔しい結果になってしまったけれど、自分の中では絶対に優勝したと思えるほど、みんなで協力し合えたと感じました。だから、これからある合唱祭や日常生活でも、みんなと協力していきたいなと思いました。

中1

▽私の学校では先日、体育祭がありました。私は、紅軍として中学校最後の体育祭に挑みました。今年の紅軍、白軍には全体的に少し実力差があり、白軍の方が実力があつたので、練習でも負けてしまうことがありました。当日も、リレーや学年競技で差がついたりして、白軍の方が速く強いことがありました。でも、紅軍は諦めませんでした。圧倒的な差がついても「きつと差は詰められる」「不可能じゃない」と信じて競技や応援を最後までしました。結果は総合優勝、応援優勝、どちらも負けてしまいました。思い出に残る楽しい体育祭でした。

中3

▽今年は、中学校最後の体育祭でした。軍リーダーもみんなもすごく気合が入っていて、一生懸命練習しました。体育祭当日、みんな全力を出して競技したり、応援したりしました。しかし、結果は応援も総合も負けてしまいました。だけど、みんなで100%の力を出せたので悔いなく終わることが出来ました。

中3

▽体育祭で私たち紅軍が一致団結して応援し合う姿に心が温かくなりました。特に、応援合戦ではひとつになってそろえることが出来て気持ち良かったです。仲間と協力してひとつのことをやり切るとうれしくなりました。

中2

▽私たちの学校は、いろいろな行事を小中学校合同で行います。でも、小学生の中には、はずかしくて声を出すことが出来ない人もいます。その時、中学生の応援団が積極的に声を出して、周りの人も声を出せるようになってきました。それにつられて声を出せなかった子も出せるようになりました。それだけではなく、なかなか周りとかいさつをそろえられない子もいましたが、横について出来るようになるまでアドバイスをしたりすることで少しずつ周りとか合うようになっていきました。私はこれを見て、中学生は中学生、小学生は小学生と分けるのではなく、協力していくことで良いものをつくる事が出来ると思います。

中3



中2

☆部活・クラブ仲間とのきずな

▽私は吹奏楽部に所属しています。中体連の前の壮行会の入場の時に演奏をさせてもらいました。私は中体連で頑張っただけだと思いたい、精一杯演奏をしました。壮行会が終わった後、たくさんの人に「演奏ありがとう」とや「演奏よかったよ」と言われて嬉しい気持ちになりました。これからも演奏を聞いた人に喜んでもらえるように練習から一生懸命頑張りたいと思います。

中2

▽私は今、吹奏楽部に入っています。楽器決めをする時、私はフルートという楽器を希望していました。でも、別の楽器になりました。悔しかったです。でも、その時に同じ部活の子が「1年たったなら、この楽器が好きになるからがんばって」と励ましてくれました。私は、この言葉を聞いたなら「がんばろう」という気持ちが出てきました。本当にありがとうございます。

中1

▽私は吹奏楽部でソロを良く吹いています。長いソロもあれば短いソロもあります。部活の時間に練習をしていて、苦手な高音も少しずつ出るようになってきました。私がソロを失敗すると同じパートの後輩がいつも「先輩は上手だから自信持って頑張ってください」とや「先輩のソロかっこよくて大好きです！」と言ってくれます。そのおかげでだんだんミスもなくなり、ノーミスで演奏が出来るようになりました。本当に後輩の言葉で救われました。

中3

▽私は、吹奏楽部に所属しています。1年生の頃から同じタイミングで入った同じパートの子と比べられ、私はどんどん自信を失くして「もう私は別にセカンドだし音も小さいから失敗してもいいや」「吹けない所は吹かなくていいや」と考えていました。そんなある日、クラブを卒業してしまう先輩5人から手紙をもらいました。読んでみると「〇〇は音色はいいから、もつと自信を持つて大きく出してみて」や「音色がきれいでうらやましかつたな」などと書かれていました。私はこれを読み、もう私たちが後輩を引っ張るんだし、いつまでもそんな甘ったれた考えじゃダメだと思い、考え方も「いい音色だからもつと大きい音を出そう」「ちゃんと吹いた方が楽しい」という風に変まりました。

中2

▽私が吹奏楽部で部長をやっていた時、部員を上手くまとめられず部活に参加するのがつらい時期がありました。もともと話すのもあまり得意じゃなかったので、自分の思いをみんなに伝えるのもためらってしまっていました。そんな時、いつも指導してくださいっている先生に呼ばれ「部員に伝えたいことがあるなら言ってみなさい。もし、何かあれば私が何とかするから好きなようにやって良いんだよ」と言われました。先生の心強い言葉は今でも私を勇気づけてくれます。ありがとうございます。

中3

▽ぼくはバスケットボールクラブに所属しています。練習は走ることが多くとてもえらいです。今まで何度も心が折れそうになりました。けれどそんな時、何も言わずにそばに居てくれた父・母。その存在はぼくのとても大きな支えになりました。又、先輩も「うまくなりたいだろう」「走れるようになったな」などの声掛けをしてくださり、乗り越えることが出来ました。今ではバスケットが大好きです。たくさんたくさん練習して仲間と共に目標を叶えたいです。

中1

▽私はバスケットボール部に所属しています。3年生になり、中学生最後の大会がありました。私はキャプテンなので、試合前、チームのみんなに「どんなに点差がついても最後までやりきろう」と何度も声をかけていました。ですが、試合の後半で足が動かなくなり試合に出られなくなりました。私は泣き崩れ、チームのみんなに「ごめん」としか言えませんでした。試合が終わり、私たちのチームは負けで終わりました。試合後、チームの仲間たちは「みんな全力でやりきれたねー！」と笑顔でした。私はその笑顔を見て「今までバスケットを約6年間やってきて本当によかったな」と思いました。そして今、瑞浪市にバスケットをやる人たちが少なくなってきた中、私たちにバスケットをやらせてくださっている協会の方に感謝をしたいと心から思いました。私は、バスケットボールというスポーツに巡り会えたことで心身共に成長することができました。

中3

▽ぼくはサッカーをしています。少し前の大きな大会で、パスマスをしてしまい、そこから点を取られてしまいました。試合後、ぼくがすごく落ち込んでいたら、友だちが「大丈夫だよ。次がんばればいいから」と言ってくれました。すごく優しい言葉で、ぼくは前を向いて「次、がんばろう」と思えることが出来ました。

中1

▽ぼくはクラブチームでサッカーをしています。東海大会出場の大事な試合のスタメンで緊張していました。ピッチに入る前に緊張しているぼくの姿を見てコーチが「今までやってきたことを出しきればいい」と声を掛けて、背中をたたいて送ってくれました。そのおかげで緊張して体に入っていたけど、リラックスして試合をすることが出来ました。コーチにはとても感謝しています。

中3

▽私はバレーボール部に入っています。私はとても泣き虫で何をやってもうまくいきません。そんな時、私に勇気を与えてくれた人がいます。コーチとお母さんです。コーチは「○○なら出来るよ」と励ましてくれました。お母さんは送迎をする時「頑張つて！」などと声をかけてくれることがうれしいです。この言葉で私は元気をもらうことが出来ています。これからもバレーボールを頑張りたいです。

中1

▽中学校に入って2年とちよつと陸上をやりました。2年生のときは、すごい記録も伸びて調子が良かったです。引退までラスト1年頑張りどきでした。3年生最後の中体連。自己新も出すことが出来ず終わってしまいました。その時、他校の同級生から「頑張るならいくらでも一緒に練習するし、中学が終わりにゃない」と言われました。陸上は個人競技だから、周り全員がライバルだけど、ライバルだからこそその絆があるんだなと実感しました。これから冬になります。高校まであと半年。冬はきつい練習が多いけど、それも仲間とやるからこそ苦しくても楽しさがあるんだと思います。陸上をやっている一番好きになった言葉は「苦中有楽」く苦しみの中に楽しさもあるくです。

中3

▽中体連の市大会の時の話です。Y先輩は個人戦であと一步のところまで負けてしまい、地区大会へいくことが惜しくも叶いませんでした。ぼくはベスト8、ベスト4と勝ち上がり地区大会に出場出来ることになりました。そして向かえた準決勝、あと1ポイント取られたら負けというところで先輩が「俺たちの分まで頑張ってくれ」と叫びました。そこでぼくは気持ちを入れかえ2ポイント取り返すことが出来ました。自分の試合が終わっても精一杯応援して勝たせてあげようという気持ちに「ぼくもなりたい」と思いました。

中2



中2

▽自分は硬式野球をやっており、6月に、3年生最後の夏の大会で、ぼくは一番ファーストに指名されました。3年生を全国へ連れて行ける最後のチャンスでした。しかし、結果は惨敗で全国への道はなくなっていました。自分は3打席あった中で1本も打てずにただ一人で立っていました。その時、先輩が「お前は今日よくがんばった」と言いました。自分は何もしていないのに何でそんなことを言うのかわかりませんでした。帰りの車の中でずっと考えていました。家に帰り今日の試合をあらためて見て、その負けのくやしさに涙が出てきました。その時、やっと先輩が言った言葉の意味がわかりました。「次はお前の番なんだ」ということに気が付きました。あのかやしさをバネに今日も誰よりも努力をして練習にのぞんでいます。その時の目標が自分の中で生まれました。その目標は「全国制覇」

中2

▽ぼくは、この中学校での最後の中体連でテニス部として先輩と一緒にダブルスで出ました。試合では、常に自分をふるい立たせるように集中して動くことができました。優勝したかったけれど、あと一步のところまで負けてしまう試合が二つあり三位になってしまいました。笑顔で終われなかったのがとてもよしかったです。それでも先輩は「このメンバーでテニスができたことはうれしいことだったし楽しかった。今まで一緒にやってくれてありがとう」と言ってくれました。とてもうれしかったです。テニスをやっていて良かったと思えました。

中2

▽私はテニス部に所属しています。初めて入った時、ラケットすら持ったことがない私に先輩方がラケットを貸してくれたり、「こうやって持つんだよ」と教えてくれました。そして、だいぶ打てるようになり、今ではいい所へ打つと「ナイシユ」「ナイスボール」など一回一回ほめていただいています。私を成長させてくださった先輩方、ありがとうございます。

中1

▽私はソフトボール部に所属しています。今はピッチャーの練習をしています。いつもお父さんに「朝早く起きて練習するか？」と言われます。最初は「少しでもいいや」と思いながらやっていたけれど、今は「やらなきゃ」と思うようになりました。なぜなら「ピッチャーはとても大事でピッチャーがダメだと試合が成立しない」と知ったからです。お父さんは、私がストライクを入れられるようにならないと大変だから心配してくれていると分かって嬉しかったです。

中2

▽中体連、試合に負けて部活引退が決まってしまい、ぼくは、自分のピッチングが出来ずに涙がこぼれてしまいました。その時、試合を見ていたクラスメイトが「良かったよ」と励ましてくれました。とてもうれしかったです。ありがとうございます。

中3



中1

▽中学生になり、部活に入るようになりました。ぼくは思い切ってやったことのない野球部に入りました。ルールもそんなに分からず、まだ守備も出来ませんでした。けれど、そんなぼくに優しく一から教えてくれた顧問の先生や部長、部員の間がいました。そんな方々の気持ちに応えようと家でもいっぱい練習しました。こんな野球部のみんながいてくれたからこそこのやる気が出たと思います。本当に感謝します。ありがとうございます。

中1

▽私が今まで頑張ってきた部活の中体連の東濃大会決勝戦の日、私はとても緊張していました。今まで、クラブで足を引く張ったり、試合の時に力を出せなかったりしたので、いつも監督やコーチ、チームメイトに迷惑をかけてしまっていて、そんな情けない自分が嫌でした。「今日の試合も私のせいで負けてしまったらどうしよう」そんなことばかり考えていました。すると、わたしの姉が「はい、あげる。バスの中で中身見てね」と言っ手作りのお守りをくれました。そしてバスの中でお守りの中を見ると、全行びっしり書かれた姉からの手紙が2枚入っていました。手紙には「頑張ってきたこと、つらいと思いつながらでもクラブをやめなかったことがすごい。自分を信じて試合に臨んでほしい。応援しているよ」といった内容が書かれていました。私は思わずバスの中で泣いてしまいました。自分の全力を出し切ってその結果がどうであれ頑張ろうと思えました。結果は優勝しました。私は姉に「ありがとう」と言っ終わりました。

中3

▽ぼくはクラブでキャプテンをしていました。キャプテンの責任感と重圧から思うようなプレーが出来ず、チームを引つ張ることが出来ませんでした。そして、ぼくは監督に「キャプテン辞めたいです」と言いました。すると監督は「わかった。とりあえず気付いた人がキャプテンの仕事をしる。お前もその中でやっていつか自然にお前がキャプテンに戻るようになればいい」と言いました。やめることは出来ませんでした、今となつてはキャプテンをやつてよかつたと思います。監督のおかげで気持ち楽になり、最後はキャプテンとして終われたので良かったです。

中3

▽私は7月まで部長をしていました。部員は11人。男子、女子と一緒に活動していました。部長をしている中でうまくいかないことや思いどうりにいかないことなどがありました。そして「部長をやめたい」と言つてしまいました。すると親友Yが「やめたいならいつでも変わるよ。でも、やりたいつて言つたのもNだよ」と言いました。私は、本当にそうだな。自分勝手なことばかり言つてしまったなと反省しました。2日後、Yに謝りました。するとYが「私もきつく言つてごめんね。あと少しがんばろ」と励ましてくれました。私は最後まで部長を続けることが出来ました。それは、Yのおかげです。悩んでいる時もいつもYは相談に乗ってくれて一緒に悩んでくれました。Yに出会えて本当に良かった。ありがとう。そして、部員みんな、こんな私に最後までついてきてくれてありがとう。

中3

▽ぼくは中学3年生なので今年が最後の中体連でした。そんな中、ぼくは今まで練習してきたことが出されず、試合に負けてしまいました。すると友だちが「良い試合だったよ。悔しいとは思うけど一緒に仲間を応援しよう」と言ってくれました。その言葉でぼくは気持ちを切り替えて仲間の応援を精一杯することが出来ました。これから部活動はないけれど、勉強にも精一杯取り組んでいきたいです。

中3

▽ぼくは、中学校最後となる中体連市内大会に出場しました。一回戦目は勝ったけど、二回戦目で負けたぼくは東濃大会に出ることが出来ませんでした。くやし涙を流していた時に、コーチが「お前は最後まで頑張った。お前の試合を最後に見ることが出来てうれしかった」と言ってくれたのでうれしかったです。その日から「もっと強くなるう」と心の中で誓いました。

中3

▽私の部活最後の試合となった東濃大会。私はそこで試合に負けてしまい、せめてもの思いで仲間の試合を精一杯応援しました。その姿を見た先生に言われた一言。

「いつものあなたが別人みたいにかっこ良かったよ！」ただ、精一杯に応援していた私の姿を見てほめてくれた。とてもうれしい気持ちになりました。

中3

☆地域の人のつながり

▽私が登下校中に信号のない横断歩道を渡るとき、時々旗を持った地域の人たちが立っています。その人たちは、いつも私に挨拶をして、車を止めて一緒に横断歩道を渡ってくれます。私がお礼を言うと「行つてらっしゃい！気をつけてね」と笑顔で言ってくれます。朝は少し気が重いときがあるけれど、そう言ってもらうと少しだけ元気が出ます。

中3

▽私が登校の時、地域の方々が「いってらっしゃい」「がんばってね」「おはようございます」などいつも明るく声をかけてくれてとてもうれしかったです。私たちは、地域の方々に愛されたり助けてもらったり、守ってくださるおかげで安心して登校出来るのだと改めて感じる事が出来ました。そんな地域の方々に感謝の気持ちを込めて自分たちに出来ることを考えていきたいです。また、小学校の時に地域の人とふれ合う「いも煮会」というのをやってきました。なので、ぜひ、中学校でもそんな企画を提案して地域の方々との交流を深めていきたいです。

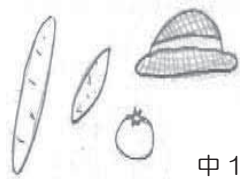
中1

▽近所にお年寄りの人たちが町をきれいにするために花を植えてみえます。通る人たちが心穏やかになるようにやってみえます。ぼくが通ったらきれいな花たちがあって、すごくきれいにしているなあと思いました。

中1

▽小学校の時に通っていた通学路に畑があります。私が帰ってくる時間になると農作業をしてみえるおじいさんおばあさんがいます。いつも通りかかると優しく「おかえり」と言ってくれます。中学になると、その道を通らなくなりましたが、今でも顔見知りで、朝、新鮮野菜を持ってきてくれます。その野菜はとてもおいしいです。いつも持つて来てくださるのでうれしいです。

中1



中1

▽ぼくの家の近くに、とても親切なおじいさんがいます。その人はいつも野菜を何も言わずに玄関のところに置いていってくれます。ある日、置きにきてくれたおじいさんを見たぼくは、たまに家にあつたお菓子を渡しました。後で母に聞いたら、3年前、お兄ちゃんの自転車教室の先生だったとわかりました。ずっとぼくたち家族は、このおじいさんにお世話してもらっています。こんなおじいさんになりたいです。いつもありがとうございます。

中2

▽ぼくの町には、伝統的な文化であるおはやしがあります。おはやしには、地域の小学生や中学生が参加し、祇園祭りで大勢の観客の前で発表します。おはやしは中学生になると参加しなくてもいいのですが、お父さんにすすめられて祭りに参加しました。最初は正直あまり行きたくなかったのですが、おはやし保存会の人に「来てくれてありがとう。助かったよ」と言われてとてもうれしくなりました。来年も参加したいと思いました。

中1

▽台風が来て一日休みになりました。学校に行く道は大丈夫だと思っていたけれど、竹が倒れて通れなくなっていました。どうしようと困っていると、近くに住むおばさんが「どうしたの？」と声を掛けてくれました。訳を説明すると市役所に電話をしてくれました。すぐくうれしかったです。おばさんが「こつちから入っていきな」と声をかけてくれ、おばさんの庭に入り通ることが出来ました。本当に感謝しています。 中1

▽家に帰る途中で雨が降ってきてしまいました。急いで帰っていたら、近所のおばさんに出会いました。「こんにちは」と挨拶をすると「こんにちは。かさ無いの？これ使いな」とかさを貸してくれました。私はとてもうれしかったです。私も困っている人がいたら出来ることをしてあげたいです。 中1



中1

▽ある日、ぼくは事故にありました。最初、自分でも何が起きたか分からずにパニックになってしまいました。その時、自分の知っているおばさんが話しかけてくれて、その人のおかげで少し気持ちに余裕を持つことが出来ました。地域の人とのつながりの大切さが分かりました。 中3

おボランティア

▽清掃ボランティアに参加するものの、正直「大変だなー」とか「めんどくさいな」と思ってしまった。でもあるボランティア中を通りがかったおばさんが「いつもありがとう」と言ってくれました。それから私は、自分のためだけでなく、他人にも何が出来るかを考えて行動出来るようにしたいと思いました。

中3

▽川の清掃ボランティアに参加した時、たくさんのゴミを集めて集場所に戻りました。すると、近くにいたおじさんに「ありがとう。ごくろうさま」と言われ、とても良い気分になった。

中3

▽私が参加した地域の夏祭りボランティアをしていた時、やっていた屋台に小さい男の子とその子のお母さんが来ました。私が、男の子に景品を渡すと、二人が「ありがとう」と言ってくれました。い

つも聞いている言葉なのに、その時は疲れもあったのか、その言葉がとても心に残って心の中が温かくなりました。言葉一つで気持ちが温かくなり、その親子に言いたくなりました。「ありがとう」と。

中2



中3

▽ぼくは、地域の活動のボランティアに参加した時、地域の方に「ボランティアありがとう。おつかれ」と言われました。それを聞いて、やってよかったと思い、自分の町だけでなく、市にも協力したいと思いました。また、多くのボランティアに参加したいと思いました。

中3

▽職場体験で介護施設に行き、お年寄りの方といろんな話をしていました。しかし、私は人と話すのが苦手なので、話をうまくつなげられなかったり、どう対応したらいいのか分からなかったりするばかりでした。自分から積極的に話しかけることが出来ず、静かになると、その相手の方が「若い子と一緒に話していると、なんか元氣になれてうれしい」と笑顔で言いました。これを聞いた私は、人と話しているだけで、相手の方を幸せに出来ると思ったし、こんなことを言ってもらえてうれしくなりました。

中2

▽今年の敬老の日、老人デイサービスへ演奏慰問しに行きました。友だちと童謡を歌ったり、演奏したりしました。演奏を楽しんで聞いたり一緒に歌ってくださいました。自分の好きな音楽で多くの人がつながることをうれしく思いました。

中1



中1

なつれしい出来事

▽下校中、歩道を歩いていると、道路に出ようとしている車がありました。交通量の多い道路でその時は偶然周りの信号が赤になり、車があまり通っていませんでした。私は立ち止まって車が出るのを待っている、ドライバーの人は笑顔で「どうぞ」と手でうながしてくれました。私はお礼をして小走りで通りました。ささいなことだけど、歩行者と車では事故が起こることもあるから、優しいドライバーさんの気遣いにとってもうれしく思いました。

中3

▽私はお母さんと一緒に出かけました。その日は雨でした。店の駐車場に入ろうとした時、車のタイヤが滑って段差にはまってしまいました。いくらアクセルを踏んでも動かず困っていました。すると、後ろでそれを見ていたおじさんたちが、一緒に車を押してくれました。そのおかげで車が動きました。知らない人たちだったけど、困っていた私たちを助けてくれて本当にうれしかったです。私は、これからは知らない人でも関係なく進んで助けていきたいと思いました。

中2

▽東京研修。道に迷った私たちを見て、街の人が助けてくれた。おかげで目的の場所に行けた。助けてあげられる優しさと、知らない学生に声を掛けてくださった名前も知らないその人に心から感謝したい。

中3

▽ぼくがある日、ご飯を食べに行つて、少しの間列に並んでいました。すると、道を歩いていた男性がポケットからハンカチを落としました。ぼくは、もし拾つてしまえば、また列の最後尾になつてしまうと思ひ拾ひませんでした。しかし、拾わないと男性はハンカチをなくしてしまひます。どうしようか考へてみると、ぼくの前に並んでいた男性がハンカチを拾つて落とす主になつていました。ぼくはこの男性のように動けば良かったと後悔しました。この男性のように思ひやりを持つて行動したいです。

中2

▽ぼくは、家族と一緒に旅行で広島に行つた。その時に、広島路面電車を使った。路面を走つてゐるわけだから、とても揺れ、つり革を持つていなければ倒れるぐらゐとても大変だつた。その時に、赤ちゃんを抱かえた家族がいた。そのお父さんは、赤ちゃんで両手が使えていない状態。ぼくでさえ倒れそうならゐ大変なのに。その時、男性が席を譲つてゐた。ぼくは、男性みたいに周りを見て行動したいと思つた。

中2

▽私が家のことをし終えて母の帰りを待つてゐて、母が帰つてくると「ありがとう」と家のことについてお礼を言つてくれます。家のことを手伝うのも当たり前だし、「ありがとう」も良く聞く言葉だけど、その一言がうれしいです。

中3

▽ある日、ぼくが外に出ると、ハチの羽が取れて弱っていました。それを弟と妹が、そのハチは弱っているし、羽がないと飛べないからと、道路の脇の安全なところにどかしていました。それを見て、まだ命が残っているし、虫の生命においても簡単には死なせていけないという心がないとできないことだと思いました。人も虫も同じ生き物ということを感じている姿がとてもいいと思いました。

中3

▽ぼくは、ある暑い日、下校していると、軽い熱中症になってしまいました。休憩しつつ歩いていたのですが、それでも治らず、家に早く着いて休憩しようと思い水も持っていなかったのに、懸命に歩きました。するとあるおばさんに「大丈夫？休憩していったらどう？」と言われました。とてもうれしかったのですが、迷惑をかけてはいけないと思い「ありがとうございます。でも大丈夫です」と言っただけのまま歩き続けました。100 mくらい行ったところで、なんとさっきのおばさんがぼくのことを心配して走ってきてくれました。その時、近くにいた高校生の人が「大丈夫？荷物持ってあげるよ」と優しく言ってくれたのです。ぼくは2人には感謝の気持ちしかありません。こんなに周りの人は心配してくれているかと思うと、とても人というのは優しいんだなあと思いました。今回は助けられた側なので、次は助けたいと思います。

中3

▽私が母と岐阜市に電車で出かけた時、初めて行く道なので、わからなくなったことがありました。たまたま近くにいた若い女の人に道を聞くと、とても丁寧にわかりやすく教えてくれました。まったく顔も知らない人でも、面倒くさがらず接してくれる優しさがとてもうれしかったです。その後、私たちが再び道を尋ねたおばあさんもとても親切でした。岐阜市は温かい人が多いように思いました。

中3

▽自転車で友だちと学校に行く途中の話です。いつものように横断歩道を渡ろうとした時に、車がいっぱい来てとても渡れそうになかったので待つことにしました。すると、ぼくらに気が付いて停まってくれた親切なおじいさんが「お先にどうぞ」と手で合図をしてくれたので、心が温まりました。そして、停まってくれた車全部に頭を下げて行きました。なので、笑顔がたくさん見られました。ぼくは、今でも停まってくれる車に頭を下げていますが、やっぱり笑顔が見られるととてもうれしくなります。みなさんもそういうことがありますか？どんな些細なことでも人を感じる気持ちがあれば、誰にだってできることだと思います。

中1

▽瑞浪駅で電車を待っている時に、小学生の子がゴミが落ちているのを見つけて、何も言わずにゴミ箱に捨てていました。自分のゴミでもないのに拾っていてすごいと思いました。

中1

▽私が買い物をして会計が終わった後、買ったものを袋に入れていたら、さいふが落ちて小銭が台の下に転がってしまいました。取れなさそうだったので、1円と10円だからまあいいかと思つて帰ろうとしたら、通りかかったおばさんが「落としましたよ」と言い1円玉と10円玉を私にくれました。「ありがとうございます」私にはその1円玉と10円玉がとても輝いて見えました。この1円玉と10円玉は今、私の貯金箱の中に入っています。

中1

▽ある店に外食に行った日の話です。その店は前の店と変わっており、メニューも違いました。ぼくは、からあげ定食を食べたかったのですが、ありませんでした。店員さんを選んで「からあげ定食ってありませんか？」と言うと、店員さんは「ないですが作りましょうか？」と快く言ってくれました。そしてぼくは「ありがとうございます」と言いました。しばらくするとからあげ定食が出てきました。とてもおいしかったです。店員さんありがとうございます。

中1

▽地域を歩いていたら、空き缶がぼつんと落ちていました。それを拾って捨てたら、近くにいたおばあちゃんが「ありがとうございます」と言ってくれた。これからもゴミなど落ちていたら拾って捨てるようにしたいです。

中1



中1

▽七夕祭りの時、屋台に並び順番がまわってきたけど、友だちに呼ばれたので列を抜けてしまいました。そしてもう一度、並び直そうと後ろに行こうとしたら、私の次に並んでいた若い女の人が「どうぞ」と声を掛けてくれました。私は戸惑ったけど、そう言ってもらえてとてもやさしいなあと思いました。お祭りは人がたくさん来ることによって、人と人との和を広げられる大切なものだと思います。また、あの人の優しさがうれしくて心がほっと温かくなりました。

中1

▽家に帰る時にバスがなく友だちと一緒に歩いていると、階段に重そうな荷物を持っているおばあさんがいました。もしたら、その友だちが「良かったらその荷物持ちますよ」と声を掛けて手伝っていてすごいなと思いました。

中1

▽ぼくは今年、修学旅行で東京に行ってきました。2日目に企業研修に行くためバスに乗って移動している時です。自分たちの席をとることは出来たけれど、徐々に人も増えてきました。その時、一人のおばあさんが乗ってきました。しかし席は満席でした。ぼくは席を譲ろうか悩みました。譲ってあげたいけれど、どうしても自分から「どうぞ」と言えなかったからです。でも「自分から動かない」と思い勇気を持って席を譲りました。すると、おばあさんは、ぼくに感謝してくれました。そこからぼくは、いいことをしたんだと気持ちが悪くなりました。

中3

一般編



ふきとじ

ほらあきいも

自然の感謝だね



▽研修会の帰りにスーパーで買い物をしました。小さな携帯用バックしかなく、ダンボール箱に詰め、他の用事を30分程済ませた後、帰宅しました。食事の用意をしようとしたところ、一つ袋を買い物カートにつけたまま忘れたことに気付きました。すぐに取りに行きましたが、ちよつと時間が経っていたので「だめかな」と思いながら店員さんに聞くと「案内へ」と言われました。行つてみると、私の袋がありました。とりあえずレシートを持って行きましたので、照らし合わせてすぐにもらえました。たいした買い物・金額でもないのに、なぜか「ほっ」とうれしくなり、どなたかわかりませんが「店員さんかも」と思いながら「ありがとう」と心でつぶやきながら帰りました。

70代

▽近所の83才の女性が、我が家の前を通りかかりました。手には杖とトートバックを持っていたので買い物帰りかと思ひ声をかけました。「お買い物でしたか？」と私が話しかけると、「いいえ、そろばん教室だよ」とトートバックを開きそろばんを見せてくださいました。「えっ！そろばんを習いに行つて来られたのですか？」「うん、習いに行つて来た帰りだよ」とのこと。私は、小学校の時に習っていたものの、80才を過ぎてからも習いに行かれるHさんに感激しました。いくつになつても学び続けることが元気に繋がっているのでは…と思ひます。Hさん、暑い夏ですが、体に気をつけて「そろばん」頑張ってくださいね。

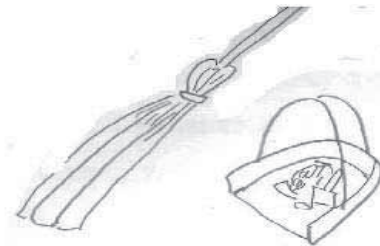
60代

▽小学校の孫とじいじが「中学に入ると何の部活に入るの？じいじは野球がいいと思うけどどう？」「いやだ。ぼくはサッカーがいいかな」と部活の話をしていました。「中学に入ると部活で朝早くから夜遅くまで練習があるから大変だね。生徒も大変だけど、部活の先生も朝早くから夜遅くまで生徒に付き合わないといけないから大変だよ」との会話の後で、孫が「パパだって朝早くから夜遅くまで働いているから大変だよ」と言ったのを聞いて、パパが頑張って働いている姿をちゃんと見ているんだなと感心しました。

60代

▽「来月はこま犬の清掃が来るで頼むよ」同期生から連絡が来ました。平成2年、世界一的美濃焼こま犬は、市制35周年・高浜市と姉妹都市提携を記念して制作されました。そのこま犬の周辺と駐車場を掃除します。大川地区の還暦の年の1月から始まり翌年は2月に、翌々年は3月に…72歳の12月に掃除をして卒業となります。先人の英知で今のシステムを考えられ、こま犬制作後引き継がれて今日に至っています。ボランティアなので、無理せず都合の良い人が出て毎週日曜日の8時頃に雨天以外行われています。世界一的美濃焼こま犬を見物してくださる方々に気持ちよく立ち寄っていただければうれしいという思いで引き継がれて行くと思います。

70代



▽台風通過の道路に多量の落ち葉。竹ぼうきで掃除中、土岐小学校より帰宅途中の低学年の女の子たち二・三人に「おかえり」「ただいま」の言葉のやりとり。「おばさん、道をきれいにしてくれてありがとう」の言葉をもらい、70過ぎの老人の私、思わず温かいものがこみ上げて来ました。幸せ気分の午後、ありがとう！

70代

▽小3と年長の二人の息子がいます。けんかもするけど、とても仲が良く、いつも二人でくっついて遊んでいる姿は子犬のようです。優しく穏やかな長男と兄を慕って何でも「兄ちゃん兄ちゃん」と後を付いて行く次男。こんな光景も成長とともに見られなくなってしまうかもしれないけれど、二人がとても可愛らしくて幸せな気持ちになります。

30代

▽いつものように子供と一緒に買い物に出かけた時の話です。

「お菓子見てきていい？」の声に「一つだけね」と言うと「100円まで？」と聞くので「そうだよ」といつもの会話をしました。

しばらく買い物していると子どもが戻ってきて「今日はやっぱりやめるね」と言うので「どうしたの？」と聞くと「だって、ママのお金が無くなっちゃうから我慢する…」と言いました。子どもなりの優しさを嬉しく感じました。

40代

▽中学3年生になる息子の軟式野球クラブの試合に行った時の話です。

中体連も終わり、3年生にとつては、負けたら最後となる県大会でした。一試合でも長く今のチームメイトと試合がしたいという想いで、初戦を勝ち上がり、この試合に勝てばベスト8となる試合でした。

2点リードのまま最終回を迎えましたが、勝ちを急ぎ、ミスから同点に追いつかれてしまい、特別延長に突入。そこでも優勢に進め、勝利がみえていましたが、結果はエラーによるサヨナラ負け・・・。

グラウンドの選手たちは言うに及ばず、声援を送っていた保護者も泣き崩れていました。

勝利まであと少しというところからの落胆さといったら、例えようのない程のショックで、地面に座り込んだまま3年間苦楽をともしした仲間と泣きじゃくっていました。

その姿に、彼らがひたむきに野球に取り組んできた気持ちを改めて知ることができ、親までもら泣きすると同時に良い経験しているなと思いました。

その3年生というのは、日吉中・瑞陵中、合わせて3人しかいないチームでしたが、そこには2人だけ。その場にはいない彼の保護者に行き先を尋ねると、「あの子は多分、どこかに隠れて一人で泣いてるんじゃない。」とのこと。

心配になったのと同時に、せっかくなら三人でこの感情を共有してほしいと思い、球場の周りを探しましたが、見当たりませんでした。仕方なく、グラウンドに戻ってみると、なんと彼は、1、

2年生と一緒にグラウンド整備をしていました。

彼のことは1年生の時からよく知っていますが、今までの集大成となる特別な試合で、サヨナラ負けを喫した状況で、黙々と※グラセン※グラセンをしている彼の真摯な姿を見て、驚きと同時に敬意を表したくなる程でした。

野球というスポーツは、試合の勝ち負けや技術の向上が表に現れるため、そこに目を向けがちですが、彼ら3人の行動を見ていて、結果が全てじゃないなあ、もっと大切なことがあるなあ、また、野球クラブを通じて充実した時間を過ごすことが出来ているなあと実感する良い機会となりました。

※グラウンド整備

40代

▽家では車に乗る機会が多いので、子供たちに小さい頃から家族の車に乗る時でも「お願いします」「ありがとう」と言うよう言い聞かせてきました。それを習慣にしておけば、よその家の車に乗せてもらった時も、自然と発するのではと思いはじめたことでした。

今年、息子が中学生になり、口数は少なく無口な息子になりましたが、車での挨拶を習慣付けていたおかげで、今でも車に乗せた時「お願いします」「ありがとう」は欠かさず言ってくれます。挨拶の出来ない子にしたいくないと思ひ、始めたことでしたが、今ではその挨拶に私自身が癒されています。

40代

▽毎日、学校から帰って家のリビングで娘は宿題、私は夕ご飯の準備。「今日、学校どうだった？何か楽しいことあった？」からはじまります。いろんな話があります。たわいもない話もあります。自分の好きなアイドルグループの話なども。一日、何を考えたか思ったか場面が想像出来そうです。私も話します。仕事であった話、ほんとならない話です。「うん、うん」と聞いているようで相づちをうっているだけかもしれません。ただ、それがほつとします。毎日の楽しみになっていきます。誰かと話すことがこんなに人をほつとさせるのかと思います。感じます。つまらない話、嫌な思いをしたことも、話して失笑すれば、それで「まっいいか」となることもあります。ならぬこと、悩みごともし少し冷静にもなれます。この日常の行いは、小学校前か入ってからの毎日日課です。「何かあつたら何でもいいから話してほしい。じゃないと何を思っているのか考えているのかわからなくて寂しくなっちゃう」と私が娘に言ったことを娘がずっと続けてくれています。時には私が言いすぎてけんかにもなります。ですが、今はこれがいつまでも続くといいなと思っています。携帯を持ちはじめたらなくなるのかなとも思います。だから今のときを大事にします。

40代

▽幼い頃、母一人子一人の生活でした。母は朝8時から夕方5時まで陶器工場で働き、食事後にまた夜6時から9時まで※ゆうなびしていました。家にはテレビは無く、私は小学校の図書館で借りた本を読み、一人で眠っていました。朝起きると、母は洗濯や掃除、ご飯の支度をしていま

した。

中学1年の時「全国作文コンクール」のポスターを見て応募したいと思い、国語のS先生にお願いして作文を見てもらいました。S先生は嫌な顔をせず「この所は直したほうがいいよ」と教えて下さいました。十数回書き直しをやって「これでいいよ」と言われた時はとてもうれしかったです。数カ月後「校長室に来るように」と言われました。中に入ると校長先生とS先生が笑顔で「おめでとう。全国3位になったよ」と小さな盾と賞状を下さいました。夕方5時過ぎ、帰宅した母に「あのね……」と賞状を見せると「ああ、今忙しい。早よご飯食べなさい」といわれ、家事を終えると母はゆうなびに行きました。母の枕元に小さな盾と賞状を置き先に寝ました。次の朝、母から「すごいね。おめでとう」と言ってもらい、二人とも笑顔になりました。後日、中学校新聞に3位の記事が数行掲載されました。クラスメイトから「良かったね」と言われましたが、実は盾の箱の中に受賞者の一覧表があり、2位も3位も受賞者は各十数名も列記されました。大したことではなかったと、母以外誰にも話しませんでした。正直に「全国3位が沢山いるんだよ」と話すと、学級委員長のT君が「3位は3位だよ」と励ましてくれました。T君はその後、N大学の医学部に入学し、医師になりました。母は96歳。今も元気で、私たちの家で同居しています。

※母が夜に出掛ける時、夜の仕事を「ゆうなび」と言っていました。

60代

▽子供はバス通学です。家から少しの所にバス停があるのですが、天候がどんな日でも隣の家のおばさんは、毎日、子供たちがバス停まで行く時間になると外に出て子供たちを待っていてくれ、バス停までの間、一緒に歩いて送ってくれます。僕が仕事に出て行く時間が同じなので、毎日バス停まで送っていったあげたくても、なかなか難しく本当に助かっています。子供が「今日はバスで行きたくない」とグズってバスに乗らない時でも家先に出て来てくれ、こちらを気にしてくれるのです。手で×印を出して合図すると、家の中に戻っていかれるのですが、本当に感謝しきれません。田舎で近くに友だちがいないので、寂しいんじゃないかと気を遣ってくれているのかわかりませんが、毎日毎日、自分の孫のように「かわいいかわいい」と言ってくくださるんです。毎日感謝です。そういうのを見ると、田舎は不便な所もあるけれど、田舎じゃないところいった事は近所同士でないんじゃないかと思えます。毎日、何を話しながら歩いているのだろうと気になる毎日です。

30代



▽私が毎日の仕事や家事、子育てで疲れているのを見かねて、小学2年生の娘が「今日は私がただでやってあげるね」「お母さん、疲れているから」と「毎日おいしい食事を作ってくれるから」と言って、肩をもみ、足を踏み、腰まで踏んでくれました。とても疲れてたので、すごく気持ちが良い、その日は良く寝れました。子どもに感謝しました。私は、その言葉を聞いてちよつと「プツ」と笑ってしまいました。子どもは親を見ているんだなと思いました。また、明日から頑張ろうと思いました。子どもに感謝です。これからも頑張るから、今日はありがとうね。

40代

▽足し算にハマっている年長さんの息子。ある日「ママ+ママは？」と聞かれ「うーん、なんだろう？」ママとママで2文字ずつだから「4？」とわたし。「ブツブツちがうよ。ママたすママは、すーき♥」とニコニコ笑顔で答えてくれました。あまりにも甘い言葉に思わずギューと抱きしめて「ママも大好きだよ♥」と言わずにはいられませんでした。ちなみに「ママ×ママ」は「大好き♥」だそうです。息子の甘い言葉に日々癒されています。

40代

▽「こんにちは〜」ドラッグストアで買い物をしていると、遠くから私に向かって大きな声で挨拶をしてくれる高校生がいました。良く見るとそれは息子の同級生。小中学校時代、息子といつも一緒に遊んでいたものの今は別々の高校に行っただめ久しぶりの再会でした。成長しても友人の母親に声をかけてくれる素敵な青年に元気をもらった出来事でした。

40代

▽2年前、病気のため手術が必要になり、10日間ほど入院しました。当時、長女は小学校3年生、次女は年長で、入院中は私の実家で過ごしました。子ども達はほぼ毎日、学校と幼稚園の帰りに病室に寄って、お見舞いにいただいたお菓子を食べたり、一緒に病院の中庭を散歩したりしていたため、特別寂しがる様子もなく、私も安心して入院生活を送ることができました。

退院した日は私も実家に泊まったので、夜は久しぶりに子供たちの間に入って、川の字で寝るの楽しみにしていました。ところが、長女は寝相が悪いので「お母さんの傷のところを蹴つちやうかもしれないで、ばばと寝る。」と気を遣って遠慮した模様。そのため、私は次女と二人で布団に入りました。ぎゅつとしがみついたかと思ったら、小さい手で私の背中を撫でながら、「かか、しゅじゅつがんばったね。」とひとこと。私は涙が止まりませんでした。幼いふたり、それぞれの優しさに幸せを感じたこの夜のことは忘れられません。

40代

▽「○○ちゃんを産んでくれてありがとうございます。○○ちゃんと友だちになれて良かったです」先日、20歳の娘の友人から言われた言葉です。その子と娘は大学の同級生。毎日、学校で一緒にランチしながら女子トークを楽しんだり買い物や旅行に行ったりと仲良くしてもらっています。そんなお友だちから思いがけない言葉を言われ驚くと共に、娘のことをそんな風に思ってくれていることに、母親として幸せな気持ちになりました。優しい友だちに出逢えたことに感謝し、いつまでもその友情を大切にしたいと思います。

40代

▽例年になく台風が多く通過した今年、自宅建物の一部が強風で飛ばされ、業者に修繕依頼することになりました。熟練の職人さんに手際よく直していただき工事は終了。仕上りの確認に行くと、夏の間に隣地から伸びたツタが一面にからまり気になっていた壁が、ツタがすっかり取り払われ、さっぱりきれいになっていました。手間のかかる作業だったと思いますが、昔気質の職人さんで手間賃を取ることもなく善意でしていただき、気持ちの良い仕事の仕上がりで見事な気配りに、こちらの心もさっぱりとしました。

50代

▽車を運転している時、横断歩道で男子中学生が自転車で渡ろうとしていましたが、なかなか車が停まらず、悲しそうな顔をしていました。私の車が停まり、やっと横断歩道を渡れた学生さんが渡り終わった後、私の車の方を振り向き一礼して行きました。当たり前のことなのに（停まるのは）わざわざ一礼してくれてすごいなーと思いました。そんな学生さんの行動を見ていた息子は「ぼくも、おにいちゃんみたいにする」と。

翌日朝、通学する際、横断歩道で停まってくださったバスに向かって振り返り頭を下げていました。当たり前なことでもきちんと一礼できる男子学生さん。またそれを良いことと認識して行動できる息子にすごいなーと感心してしまいました。これからも続けてくれるとうれしいです。

30代

▽駅のホームで体調を崩し、うずくまっていたところ、声をかけてくれる人がいました。顔を上げると、腰の曲がったおばあさんでした。私の様子を見て、わざわざペットボトルの水を購入し、駆け寄ってくださったようでした。「すみません・・・」と言うと「こういう時はお互い様だから謝らなくていいのよ」と微笑んで行ってしまった。気にかけてくれたことが本当に嬉しく、さりげない優しさに心が温かくなりました。私も、助けてくださったこの方のように、人を思いやる気持ちを大切にしていきたいと思いました。

40代

▽以前、韓国へ旅行に行ったときのことです。友だちと街中を歩いていたとき、突然大雨が降ってきました。雨宿りのため、近くの服屋に入りました。特に何も購入していなかったのですが、お店の方が声を掛けてくれて傘をくださいました。返却に来ることができないので最初は断りましたが、「もうボロボロなので捨てていいよ」と言ってくれました。ありがたく頂戴し、無事にホテルまで帰ることができました。

何も購入していなかったのですが、お店の方々はただ困っている外国人を助けたいという親切心で傘をくれたのだと思います。外国で予想外のことが起こるととても不安になりますが、現地の方が親切にしてくれると助かりますし、旅行がとてもステキな思い出になります。わたしも日本で困っている外国の方がいたら声を掛けたいなと思いました。

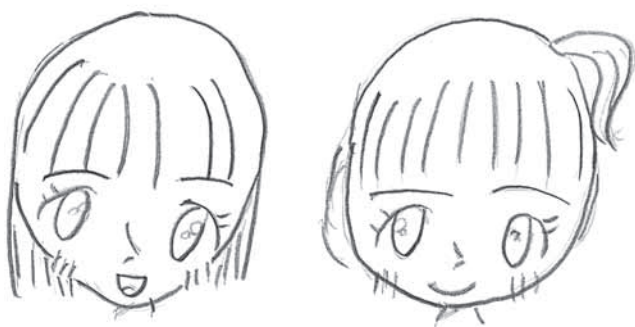
30代

▽家族が病氣入院となり、病院通いの日々が続いた頃のこと、病院ではスタッフ以外あまり言葉を交わすこともありませんでしたが、病室や待合室などで見舞いに訪れている方々と話をすることもありました。無事退院の日には、「ようございませしたね」「どうぞお元気で」と温かい言葉を掛けていただき、普段何気なく使われる言葉ですが、その方のやさしい気持ちが伝わり、自分もそんな心に響く言葉づかいができるよう心掛けたいと思いました。

50代



中2



小5

郵便はがき

郵便切手を貼って下さい。

509-6195

瑞浪市上平町 1 丁目 1 番地
瑞浪市役所 生活安全課

『ちょっといい話』係 行き

×キトリ

お名前： () 歳
ご住所：〒
電話番号：
『ちょっといい話』の 感想 ・ 応募 (どちらかに○)
通信欄：

×キトリ

読者のみなさまへ

このたびは『ちょっといい話 8』を読んでくださって、ありがとうございます。上のはがきをご利用のうえ、ぜひ、ご感想をお聞かせください。みなさまからの『ちょっといい話』のご応募もお待ちしております。

ちよつといい話 8

平成 31 年 2 月発行

瑞浪市・瑞浪市人権施策推進ネットワーク会議
(瑞浪市 まちづくり推進部 生活安全課)

〒 509-6195 瑞浪市上平町 1 - 1
TEL 0572-68-2111 FAX 0572-68-8749
<http://www.city.mizunami.lg.jp/>

この冊子は岐阜県からの助成を受けています。